Pioneer

コンパクトディスクレコーダー

PDR-D5

取 扱 説 明 書



ご注意

本機のご使用に際しては、著作権法に抵触しないよう、ご注意ください。

著作権について

- 放送やCD、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したディスクを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、及び営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

社団法人　日本音楽著作権協会（JASRAC・音権協）

本　部	TEL	03(3481)2121	(大代表)
北海道支部	TEL	011(221)5088	(代表)
盛岡支部	TEL	019(652)3201	(代表)
仙台支部	TEL	022(264)2266	(代表)
長野支部	TEL	026(225)7111	(代表)
大宮支部	TEL	048(643)5461	(代表)
上野支部	TEL	03(3832)1033	(代表)
東京支部	TEL	03(3562)4455	(代表)
西東京支部	TEL	03(3232)8301	(代表)
東京ｲﾍﾞﾝﾄ・ｺﾝｻｰﾄ支部	TEL	03(5286)1671	(代表)
立川支部	TEL	042(529)1500	(代表)
横浜支部	TEL	045(662)6551	(代表)
静岡支部	TEL	054(254)2621	(代表)
中部支部	TEL	052(583)7590	(代表)
北陸支部	TEL	076(221)3602	(代表)
京都支部	TEL	075(251)0134	(代表)
大阪支部	TEL	06(6244)0351	(代表)
大阪北支部	TEL	06(6244)7077	(代表)
神戸支部	TEL	078(322)0561	(代表)
中国支部	TEL	082(249)6362	(代表)
四国支部	TEL	087(821)9191	(代表)
九州支部	TEL	092(441)2285	(代表)
鹿児島支部	TEL	099(224)6211	(代表)
那覇支部	TEL	098(863)1228	(代表)

（1999年9月現在）

パイオニアの製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。お使いになる前にこの取扱説明書をお読みください。特に、「安全上のご注意」は必ずお読みください。取扱説明書は後々お役に立つこともありますので「保証書」と一緒に必ず保存してください。

使用上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくために

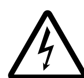
絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

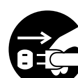
⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例


△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。


⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。


●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

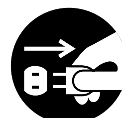
安全上のご注意

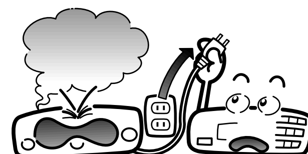
別冊の「安全上のご注意」もお読みください。

⚠警告

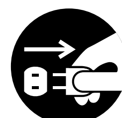
〔異常時の処置〕

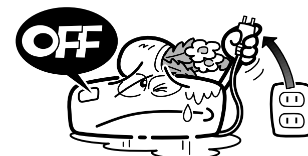
●万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。


プラグを抜け

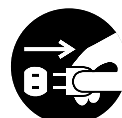


●万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。


プラグを抜け



●万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。


プラグを抜け



特長

本機はCD-RディスクもしくはCD-RWディスクに録音することができます。1度録音したCD-Rディスクは消去できませんが、CD-RWディスクは録音した後の消去が可能です。CD-RディスクとCD-RW ディスクはともに市販されているCD（コンパクトディスク）と同等の高音質と耐久性を備えています。

□ CD-Rディスク、CD-RW ディスク、市販CDの演奏

本機は途中まで録音したCD-RディスクやCD-RW ディスク、またファイナライズ済みCD-RディスクやCD-RW ディスク、さらに市販のCDの演奏ができます。

□ ディスクの互換性について

録音終了したCD-Rディスクはファイナライズ(TOC記録) を行なうことで、市販CDと同じように一般のCDプレーヤーでも演奏ができます。*1 CD-RWディスクは、CD-RWディスクが演奏できるように設計されたプレーヤーでのみ演奏ができます。

□ サンプリング周波数コンバーター搭載

衛星放送、DAT 、DCC 、DVD(48kHzのみ) などの32kHz、48kHzサンプリング周波数のソースをデジタル録音する際、CDと同じ44.1kHz信号にデジタル変換して録音されます。

ただし、録音中のデジタル出力からはソース自体のサンプリング周波数がそのまま出力されます。

サンプリング周波数が44.1kHzの時は、サンプリングレートコンバーターがバイパスされるため、HDCDやDTS CDなどを録音することができます。

□ デジタルシンクロ録音モード搭載

CD、DAT、MD、DCCからデジタル録音する場合、送り出し側の機器の演奏・停止に合わせて、録音側の本機が録音・停止する機能を搭載しています。

また、これらのソースから1曲のみをシンクロ録音することもできるので、編集録音が簡単に行なえます。

□ Hi-bit・レガート・リンク・コンバージョン

「レガート・リンク・コンバージョン」で再生周波数の広帯域化を実現し、「Hi-bit」で、ディスクに記録されている16ビットデータを24ビットに再量子化して、より滑らかで繊細な音楽表現を可能にしました。この結果、CDの枠を越えた、よりいっそうの原音に近い音楽再生を実現しています。

□ 音楽のディテールの再現性をより一層高めたマルチレベルΔΣD/Aコンバーター，"DAC24"を採用

高解像度でかつジッター（揺らぎ）に強く、安定感のある音質を両立する新開発のリアル24bit D/Aコンバーターを採用しています。"Hi-bit・レガート・リンク・コンバージョン"により拡大されたデジタル信号をより余すところなく忠実にアナログ信号に変換し、細かなディテールに富んだ高音質再生を実現します。

□ 1ビットA/D コンバーター

本機のA/D コンバーター部（アナログ信号をデジタル信号に変換するシステム）には、最新技術による1ビット方式を採用しています。従来の方式と比較すると、次のような特長があります。

- 原理的にゼロクロス歪みが発生しない。
- 全帯域にわたって非直線歪みがない。
- 無調整で高精度な音質が得られる。

これらの長所によって、微小信号レベルに至るまで音楽性を損なわずに記録・保存します。

□ 3ビーム差動プッシュプル方式ピックアップを採用

差動プッシュプル方式の3ビーム・ピックアップの採用によって、動作性が安定し、より豊かな中低域再生が実現しまた。

□信号経路の最短化とデジタルセクション／オーディオセクションを分離したダイレクトコンストラクション

正確な信号伝送を実現するダイレクトコンストラクションの採用によって、信号間の相互干渉の低減に成功。広い周波数帯域にわたる音楽信号の低歪み化、チャンネルセパレーション、レベルリニアリティの向上など、音楽信号を忠実に再現します。

＊1演奏するCDプレーヤーのピックアップレンズが汚れて再生能力が低下している場合は、市販のCDが演奏できてもCD-Rディスクの演奏ができないことがあります。

目次

準備

付属品の確認 6
末永くお使いいただくために 7
ディスクについて 8
他の機器との接続 10
　デジタル信号接続 10
　アナログ信号接続 11
各部の名称とはたらき 12
　フロントパネル 12
　表示窓 13
　リモートコントロール 14
ディスクの出し入れ 15

録音

録音モードについて 16
録音についてのご注意 17
デジタルシンクロ録音のしかた 18
　１曲のみ録音するとき（1曲シンクロ録音） 18
　全曲を録音するとき（全曲シンクロ録音） 19
　自動ファイナライズ録音 20
マニュアルデジタル録音のしかた 21
デジタル録音レベルの設定 22
　モニターについて 22
SCMS 23
　デジタルコピーの許可／禁止状態を調べるには 23
アナログ録音のしかた 24
　アナログ録音レベルの設定 25
トラックナンバーの更新 26
　トラックナンバーのマニュアル更新 26
　トラックナンバーの自動更新 26
録音時の便利な機能 27
　録音を一時停止する 27
　曲の終わりに無音部分をつくる 27
　フェードインしながら録音を開始する 27
　フェードアウトしながら録音を終了する 27
　ディスクの途中から録音する前に、録音されている最後の部分を確認する 28
スキップ情報について 29
　スキップ情報の指定（トラック・スキップ） 29
　スキップ情報の解除 30
ファイナライズ(TOC記録) 31
　ファイナライズとは 31
　ファイナライズのしかた 31

消去

消去について（CD-RWディスクのみ） 32
　ファイナライズしていないCD-RWディスクの消去 32
　ファイナライズ済みCD-RWディスクの消去 33
　ディスクの消去 34

演奏

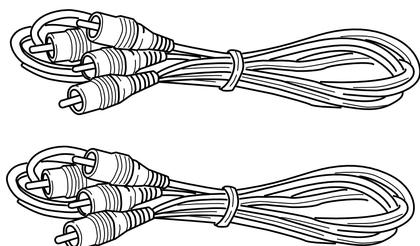
演奏のしかた 35
　演奏の開始 35
　演奏を一時停止する 35
　聴きたいトラックから演奏する（ダイレクト選曲） 35
　タイマー演奏するには 35
　となりの曲に移るには（トラックサーチ操作） 36
　早送り、早戻しするには（マニュアルサーチ操作） 36
　ディスプレイを消すには 36
　繰り返し演奏（リピート演奏） 37
　演奏中のフェードイン／フェードアウト 37
　任意演奏（ランダム演奏） 37
　各曲の演奏時間を確認する（１曲時間表示） 37
プログラム演奏 38
　聴きたい順番に演奏する 38
　予約プログラムについて 38
　プログラムをすべて消すには 39
　プログラムを１曲ずつ消すには 39
　プログラムの内容を確認するには 39
　プログラムの内容を変更するには 39
聴きたくない曲を飛ばすには（スキップ演奏） 40

その他

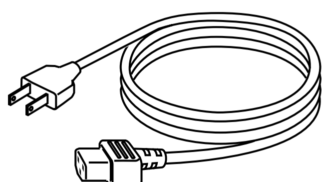
文字表示一覧 41
故障？　ちょっと調べてみてください 42
索引 44
アフターサービスについて 45
仕様 46

付属品の確認

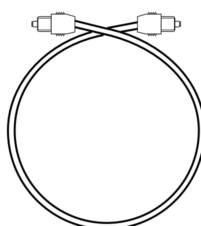
オーディオコード×２本
（アナログ録音入力／演奏出力）

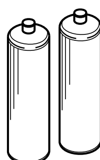


ＡＣ電源コード



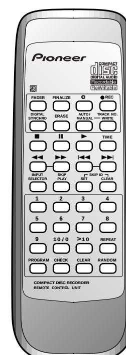
光ファイバーケーブル×１本





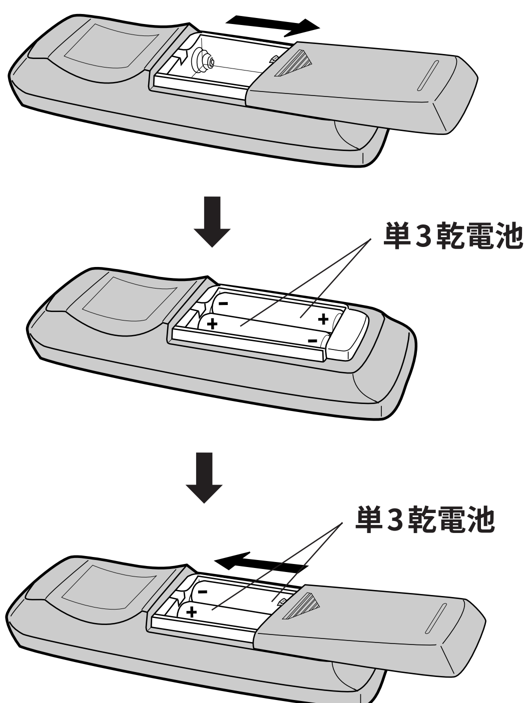
単３形乾電池×２本
（Ｒ６Ｐ）

リモコンユニット



- **保証書**
- **取扱説明書（本書）**
- **ご相談窓口・修理窓口のご案内**
- **安全上のご注意**
- **ＣＤ-Ｒ操作入門編**

リモコンに電池を入れる



⚠電池についてのご注意

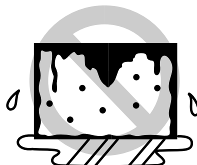
乾電池は正しく使わないと、液もれや破裂などの危険が伴うおそれがあります。次のことに注意してください。

- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池の＋と－の向きは、リモコン内部の表示に合わせて正しく入れてください。
- 乾電池は同じ形状のものでも電圧の異なるものがありますので、種類の異なる乾電池は混ぜて使用しないでください。
- 長い間（１ヶ月以上）使用しないときは、電池の液もれを防ぐために電池を取り出してください。もし、液もれを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭きとってから新しい電池を入れてください。

末永くお使いいただくために

設置、お手入れなど

■ 結露について



本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。
このような場合には1時間ほど放置するか、徐々に室温を上げてから使用してください。

■ 録音／再生中は本機を絶対動かさない

録音／再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つけたり録音できなくなる恐れがあります。

■ 設置する場所

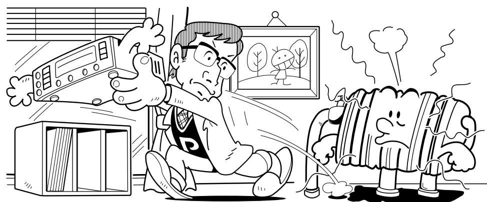
- 組み合わせて使用するテレビやステレオシステムの側の安定した場所を選んでください。
- ステレオシステムと一緒に使う場合、スピーカーとモニターテレビは少し離してください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

■ この他、次のような場所は避けてください

- 直射日光のあたる所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- 極端に暑い所や寒い所
- 振動のある所
- ほこりの多い所
- 油煙、蒸気、熱などがあたる所（台所など）

■ 熱を受けないように

アンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。
ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱をさけるため、アンプよりできるだけ下の棚（ホコリをかぶらない程度）に入れてください。



■ 重いものをのせない

本機の上に重いもの（テレビやアンプなど）をのせないでください。

■ 密閉したラックなどに収納すると、温度が上昇し、ディスクを傷めることがあります。

■ 本機のお手入れ

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。

- ■ パネルやボンネットの清掃は、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は中性洗剤を5～6倍に薄めた水に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭き取り、その後乾いた布で拭いてください。ベンジン、シンナー、殺虫剤などの揮発性の薬品をかけると表面が侵されることがありますので使用しないでください。また、化学ぞうきん等をお使いの場合は、化学ぞうきん等に添付の注意事項をよくお読みください。
- ■ ピックアップレンズは通常汚れるものではありませんが、ご使用中にホコリ等がたまって不具合が発生した時はアフターサービスについての頁をお読みの上、修理をご依頼ください。なお、市販されているレンズクリーナーには、レンズを破損する恐れのあるものもありますのでご注意ください。

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは電源プラグを1度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

ディスクについて

本機で使用できるディスクについて

● **CD-RディスクとCD-RW ディスク**

■ 本機で録音する場合、下記マークの付いたディスクを必ずお使いください。



FOR CONSUMER
FOR CONSUMER USE
FOR MUSIC USE ONLY
（上記いずれかの表示のあるディスク）

録音は上記マークのないディスクでは行なえません。

著作権使用料は、著作権法で制定されています。上記マークの付いたCD-Rディスク*1やCD-RW ディスク*2、また「FOR CONSUMER」「FOR CONSUMER USE」「FOR MUSIC USE ONLY」とあるディスクはすでに使用料が支払われているため、個人で楽しむ範囲内での音楽録音が許されています。ただし、個人で楽しむ以外の目的でディスクを使用する場合には、権利者から許可を得る必要があります。

本機では、以下のメーカーのCD-Rディスクについて動作を確認済みです。（1999年5月現在）

- パイオニア株式会社/パイオニアビデオ株式会社
- TDK株式会社
- 日立マクセル株式会社
- 富士写真フィルム株式会社
- 三井化学株式会社
- 三菱化学株式会社

下記のメーカーについてはメーカーサンプルにて動作を確認済みですが、自社ブランド名でのオーディオ用ディスクは未発売です。（1999年5月現在）

- 株式会社リコー
- 太陽誘電株式会社
- 日本コダック株式会社

上記メーカーのディスクが、別のブランド名で発売されている場合もあります。

● **CDディスク**

■ 本機には下記マークの付いたCD（光学式デジタルオーディオディスク）をお使いください。

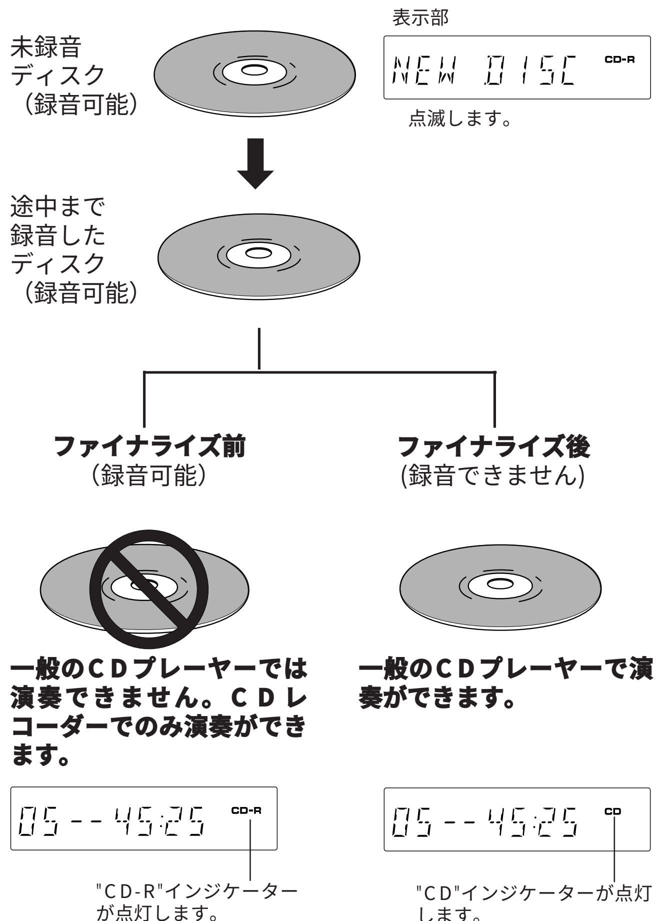


著作権についてのご注意

- ラジオ放送番組、CD、レコード、音楽テープ、オリジナルカセットなどのメディアと音楽演奏は、音楽要素である歌詞とメロディが等しく著作権法によって保護されています。
- したがって、権利者の許諾なく上記の媒体を販売・譲渡・配布・リース、また店舗などでBGM として流すことも禁止されています。

CD-Rのファイナライズ処理

CD-Rディスクは録音終了後、一般のCDプレーヤーで演奏できるようにするためにファイナライズ処理が必要です。



● **ファイナライズすると**

■ 追加録音ができなくなります。

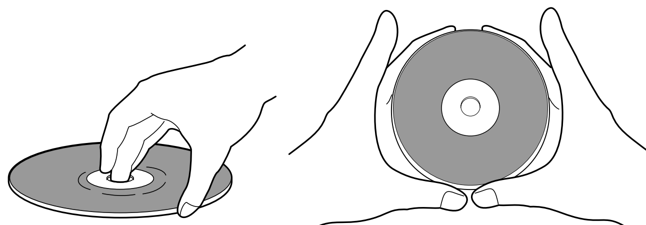
■ SKIP指定と解除ができなくなります。（31ページ参照)

● **CD-RWディスク**

CD-RW　ディスクは、ファイナライズ処理をしても一般のCD プレーヤーでは演奏ができません。CD-RW ディスク対応プレーヤーでのみ演奏が可能です。
またCD-RW ディスクは、ファイナライズ済みでも消去可能です。（32 ページの消去についてを参照）

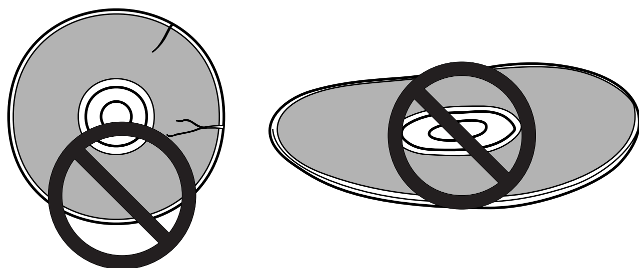
ディスクの取り扱いについて

■ ディスクを持つ場合には、信号面に指紋やホコリ、キズなどが付かないようにしてください。両端をはさむようにして持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。指紋やホコリ、キズが付いたディスクでは、録音・再生ができなくなることがあります。



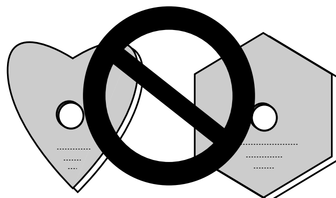
■ また、レーベル面にもキズを付けたりしないでください。キズが付いたディスクは録音・再生ができなくなることがあります。

■ ディスクはプレーヤー内部で高速回転しますので、割れたディスクや極端にそったディスクなどは使用しないでください。



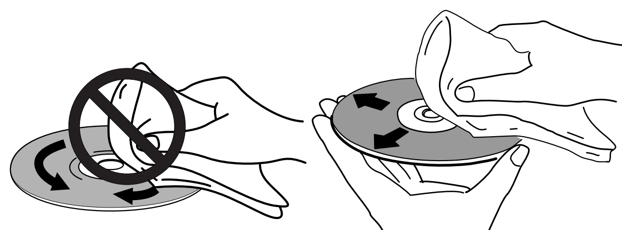
■ CD演奏上のご注意

● 特殊形状のディスクは使用しないでください。故障の原因となることがあります。



■ ディスクの手入れ

● ディスクに指紋やホコリがついた場合でも、ディスクに記録された信号には直接影響はしませんが、汚れにより信号面からの反射光の明るさが低減し音質低下する場合があります。いつもディスク表面はきれいに清掃することを心掛けてください。清掃する場合には柔らかい乾いた布か市販のディスククリーニングセットでディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。



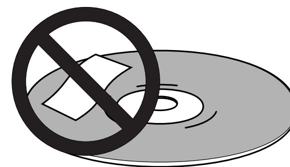
円周方向へは拭かないでください。

内周から外周方向へ軽く拭いてください。

● レコードスプレー、静電気防止剤などは使用しないでください。また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品を使用するとディスク表面が侵されることがありますので、ご注意ください。

■ ディスクの保管

● ディスクは従来のオーディオ（アナログ）レコードと同様プラスチック製です。そらないように注意し、必ずケースに入れ、直射日光や高温多湿の場所、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。車のシートの上なども予想以上に高温となりますのでご注意ください。
● ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。
● レーベル面に紙やシールを貼付けないでください。また、レーベル面にもキズなどを付けないようにしてください。キズの付いたディスクは録音・再生ができなくなることがあります。
レーベルには、市販のフェルトペンやまたそれと同等のペン以外は使用しないでください。先の堅いペン（ボールペンやエンピツなど）は絶対に使用しないでください。ディスクを破損します。



他の機器との接続

デジタル信号接続

（各機器と接続するときは必ず電源コードを壁のコンセントから抜いて行なってください。）

PDR-D5

LINE IN R L　LINE OUT R L　CONTROL IN

DIGITAL IN OPTICAL COAXIAL　DIGITAL OUT OPTICAL COAXIAL

AC IN

AC100V

付属の電源コード
（電流容量12A）

各機器との接続が終了したら、電源コードを壁のコンセントに接続します。

付属の光ファイバーケーブルをご使用ください。

光ファイバーケーブルは急な角度に折り曲げないでください。

同軸（COAXIAL）デジタル信号の接続には、必ず別売の75Ωデジタル音声ケーブルまたはビジュアルピンケーブルをご使用ください。

別売の光ファイバーケーブルをご使用ください。

光ファイバーケーブルは急な角度に折り曲げないでください。

同軸（COAXIAL）デジタル信号の接続には、必ず別売の75Ωデジタル音声ケーブルまたはビジュアルピンケーブルをご使用ください。

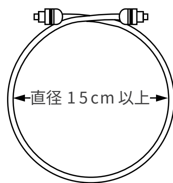
OPTICAL COAXIAL OUTPUT DIGITAL

OPTICAL COAXIAL INPUT DIGITAL

CDプレーヤーなどのデジタル出力端子を持つ機器と接続します。

DAT 、MD などのデジタル入力端子を持つ機器と接続します。

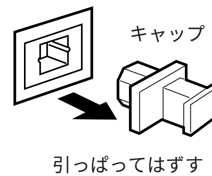
■ 光ファイバーケーブル取扱上の注意



- 光ファイバーケーブルは急な角度に折り曲げないでください。ケーブルを 破損するおそれがあります。ラックなどに入れるときは、特に注意してください。輪にして保管するときは、直径が15cm以上になるようにしてください。
- 接続するときは、端子の形状に合わせて奥まで確実に差し込み、不完全な接続にならないよう注意してください。
- 光ファイバーケーブルは、長さ3m以下のものを使用してください。
- 光ファイバーケーブルのプラグにホコリやキズがつかないよう注意してください。ホコリが付着したときは、柔らかい布などではらってから接続してください。
- 光ファイバーケーブルを接続しないときは、本機の光端子に防塵キャップを差し込みホコリが付着しないようにしてください。

光端子はデリケートです!!

- 光端子を使用するときは、防塵キャップを引っぱって取りはずします。光端子を使用しない場合には、必ず防塵キャップを取付けてください。
- 防塵キャップは大切に保管してください。



ご注意

本機を何台も連続してつなげるようなご使用はお避けください。

アナログ信号接続

（各機器と接続するときは必ず電源コードを壁のコンセントから抜いて行なってください。）

PDR-D5

LINE IN　R　L
LINE OUT　R　L
CONTROL　IN
DIGITAL IN　OPTICAL　COAXIAL
DIGITAL OUT　OPTICAL　COAXIAL
AC IN

市販のミニプラグ付きコード(抵抗なし)
(システムリモートコントロールをする場合)

付属の電源コード
（電流容量12A）

AC100V

各機器との接続が終了後、電源コードを壁のコンセントに接続します。

OUT CONTROL
パイオニアのSRマーク付き機器と接続します。

付属の
オーディオケーブル

MD / TAPE
OUTPUT　INPUT
REC　PLAY
L
R

ステレオアンプなどに接続します。

パイオニアのSRマーク付きアンプと組み合わせてシステムコントロールをおこなう場合

市販のミニプラグ付きコード(抵抗なし)で、アンプのコントロール出力端子と本機のコントロール入力端子を接続します。

- 操作方法はステレオアンプの取扱説明書を参照してください。

ご注意

- 本機のコントロール入力端子にミニプラグ付きコードを接続をすると、本機ではリモコンを受け付けません。リモコンは、接続をしたステレオアンプの受光部に向けて操作してください。
- コントロール接続以外の接続が、デジタル入出力の接続だけの場合は、システムコントロールは正しく動作しません。

コントロール接続をする場合は、必ずアナログ信号の入出力も接続してください。

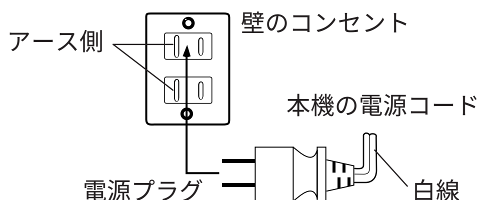
■ 電源コードのつなぎ方

付属の電源コードを本機のAC IN端子に差し込み、もう一方を壁の電源コンセントまたはアンプの予備電源コンセント（AC OUTLET）に差し込みます。

ご注意

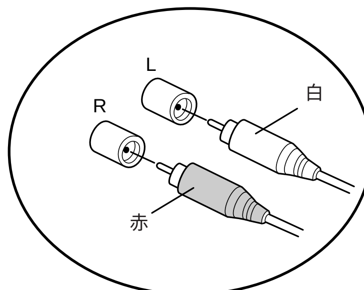
本機に付属の電源コードでは、コードの白線側をコンセントのアース（溝の長い方）に接続するように設計されています。しかし、環境によっては反対に接続した方が音質的に良い場合がありますので、ご確認の上接続ください。

- **付属以外の電源コードを使用される方は、定格を確認の上、ご自身の責任において使用していただくことになります。**
- **本機のAC IN端子のアース端子は、製品には接続されていません。**



■ 入出力ケーブルの接続

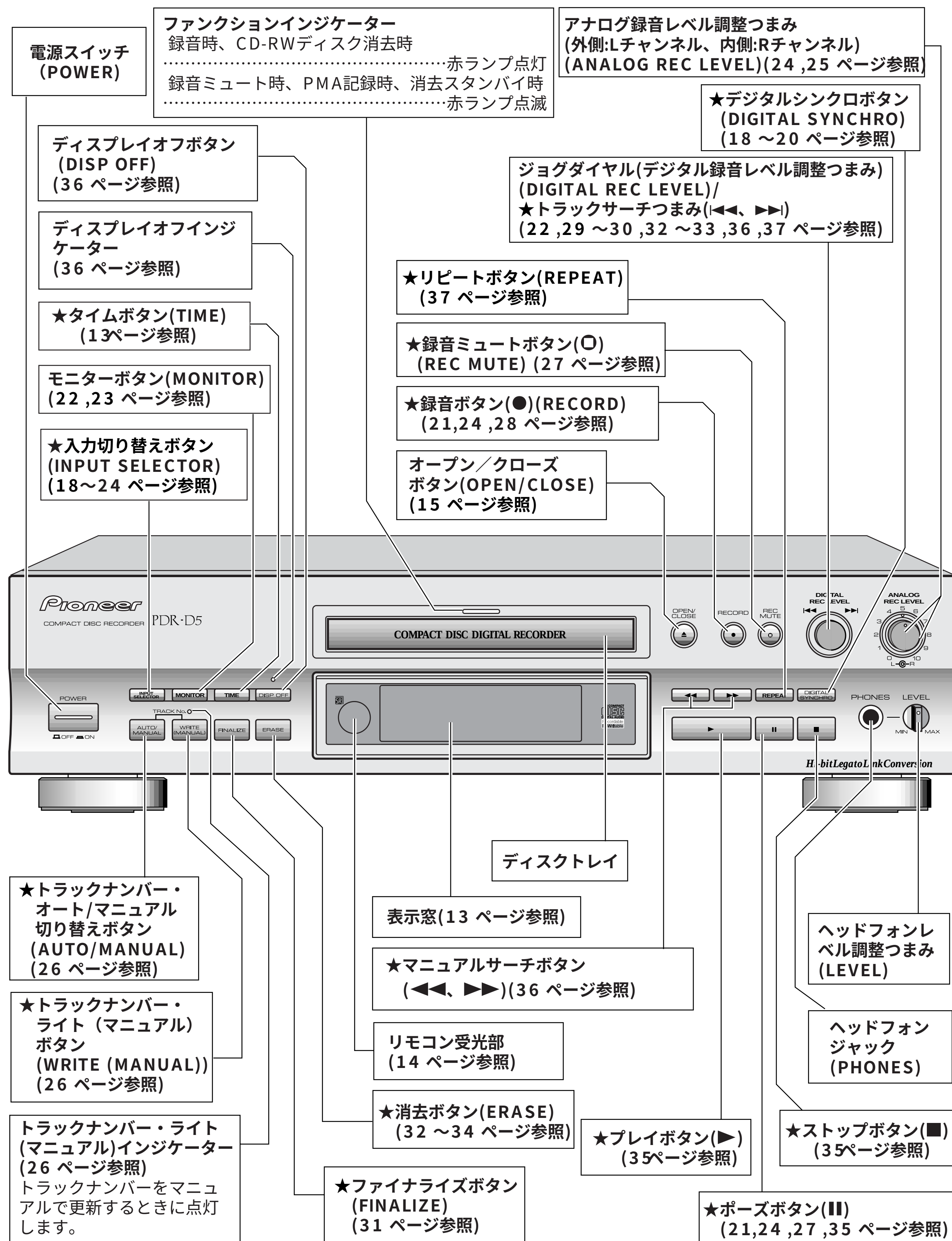
- 白いプラグはL 側、赤いプラグはR 側につなぎます。必ず奥までしっかりと差し込んでください。



各部の名称とはたらき

フロントパネル

★印のボタンによる操作はリモコンにある同じ名称、表示のボタンでも操作できます。（14ページ参照）



表示窓

自動デジタル録音時に点灯します。(18 ～20ページ参照)

演奏時に点灯します。

リピート演奏時に点灯します。(37 ページ参照)

フェードイン／アウト時に点滅します。(27 ,37ページ参照)

ディスクの種類を判別中は点滅、判別後に点灯します。(15 ページ参照)
CD：CD及びファイナライズ済みCD-Rディスクを入れると点灯します。
CD-R：ファイナライズ処理する前のCD-Rディスクを入れると点灯します。
CD-RW：CD-RW ディスクを入れると点灯します。

プログラムモードのとき点灯します。(38 ページ参照)

一時停止中に点灯、点滅します。

ファイナライズ済みCD-RWディスクを入れると点灯します。

現在選ばれている入力ソースを表示します。
ANA：ANALOG
OPT：OPTICAL
COA：COAXIAL
を表します。

ランダム演奏時に点灯します。(37 ページ参照)

メッセージを表示します。(41 ,42ページ参照)

RDM PGM RPT-1 SYNC FADER REC CD-RW FINALIZE ANA OPT COA SKIP ON
D.VOL AUTO TRACK L -dB R ∞ 40 • 18 • 6 • 0 OVER

デジタルボリュームが機能している時に点灯します。(22 ページ参照)

トラックナンバー（曲番号）を表示します。

録音中は入力レベルの値を、演奏中は再生レベルの値を表示します。

録音時、録音スタンバイ時、PMA記録時に点灯、録音ミュート時に点滅します。(18 ～21 ,24 ,27ページ参照)

演奏経過時間、演奏残り時間、総演奏時間、録音経過時間、録音残り時間、録音総時間、ファイナライズの終了残り時間などを表示します。（このページの下段参照)

スキップ情報の設定／解除のとき点灯、消灯、点滅します。(29 ,30ページ参照)
スキップ情報を持つディスクの場合、SKIP ON インジケーターは自動的に点灯します。(40 ページ参照)

録音中、トラックナンバーを自動更新する場合に点灯します。(21 ,24 ,26ページ参照)

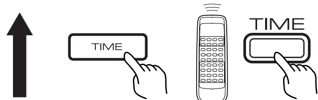
時間表示の切り替えかた

録音中に録音時間、演奏中に演奏時間を調べることができます。
TIMEボタンを押すごとに演奏の場合、Ⓐ →Ⓑ →Ⓒ →Ⓓ の順に切り換ります。ただし、録音中と演奏中では表示のしかたが異なります。（録音の場合、Ⓐ →Ⓑ →Ⓒ ）

録音時

Ⓐ:録音中の経過時間
（第2曲目　2分16秒経過)

FADER REC 02 02:16



Ⓒ:総録音時間
（全2曲　3分50秒）

FADER REC 02 - - 03:50

Ⓑ:録音中の記録できる残り時間
（ディスク残り時間56分10秒）

FADER REC REM - 56:10

＊ 80分ディスクの場合、録音可能時間は 79：57 と表示されます。

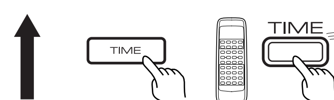
演奏時

Ⓐ:演奏中の経過時間
（第2曲目　2分16秒経過)

FADER ▷ 02 02:16

Ⓑ:演奏中の曲の残り時間
（第2曲目残り3分20秒経過)

FADER ▷ 02 - 03:20



Ⓓ:総演奏時間
（全8曲　60分0秒）

FADER ▷ 08 - - 60:00

Ⓒ:演奏中の全曲（ディスク）の残り時間
（ディスク残り時間46分40秒）

FADER ▷ AL - 46:40

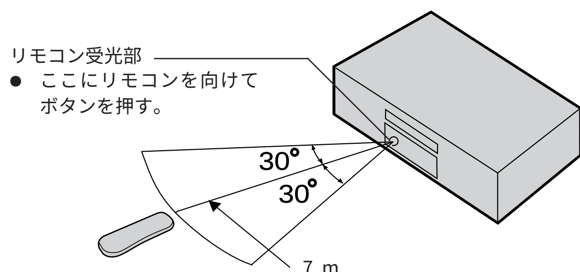
各部の名称とはたらき

リモートコントロール

★印のボタンによる操作は本体にある同じ名称、表示のボタンでも操作できます。
(12 ページ参照)

- ★ファイナライズボタン (FINALIZE)(31ページ参照)
- フェーダーボタン(FADER) (27 ,37 ページ参照)
- ★消去ボタン(ERASE) (32 〜34 ページ参照)
- ★デジタルシンクロボタン (DIGITAL SYNCHRO) (18 〜20 ページ参照)
- ★ポーズボタン(⏸) (21 ,24 ,27 ,35 ページ参照)
- ★ストップボタン(■) (35 ページ参照)
- ★マニュアルサーチボタン (◀◀、▶▶)(36 ページ参照)
- ★入力切り替えボタン (INPUT SELECTOR) (18 〜24 ページ参照)
- スキップ演奏ボタン(SKIP PLAY) (30 ,40 ページ参照)
- 数字ボタン(1〜10 , >10)
- プログラムボタン(PROGRAM) (38 ページ参照)
- チェックボタン(CHECK) (39 ページ参照)
- ★録音ミュートボタン(○) (27ページ参照)
- ★録音ボタン（●REC) (21 ,24 ,28 ページ参照)
- ★トラックナンバー切り替えボタン (AUTO/MANUAL) (26 ページ参照)
- ★トラックナンバーライトボタン (TRACK NO.WRITE) (26 ページ参照)
- ★プレイボタン(▶) (35 ページ参照)
- ★タイムボタン(TIME) (13 ページ参照)
- ★トラックサーチボタン(⏮、⏭) (22 ,29 〜30 ,32 〜33 ,36 , 37 ページ参照)
- スキップIDクリアボタン (SKIP ID CLEAR) (30ページ参照)
- スキップIDセットボタン (SKIP ID SET) (29 ページ参照)
- ★リピートボタン(REPEAT) (37 ページ参照)
- ランダムボタン(RANDOM) (37 ページ参照)
- クリアボタン(CLEAR) (39 ページ参照)

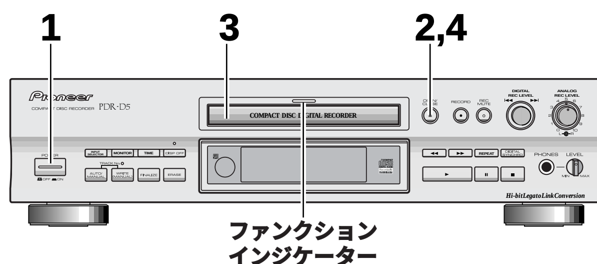
■リモコン操作範囲



リモコンの取り扱いについてのご注意

- 本機との間に障害物があったり、リモコン受光部との角度が悪いとリモコン操作ができない場合があります。
- リモコン受光部に直射日光や蛍光灯などの強い光が当たると、誤動作することがあります。
- 赤外線を放射する機器の近くや、赤外線を利用した他のリモコンを使用すると、本機が誤動作することがあります。また、赤外線によってコントロールされる他の機器を使用中、本機のリモコンを操作すると、その機器を誤動作させることがあります。
- リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら、電池を交換してください。

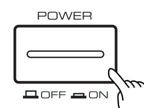
ディスクの出し入れ



■ ディスクトレイを開ける(ディスクを取り出す)

1 **電源を入れます。**

- ファンクションインジケーターが点滅した後、表示窓が点灯します。



- 録音終了後、またはスキップ情報記録後にディスクを取り出すときは、記録情報をディスクに書き込むため数秒かかります。このとき、OPENが点滅します。

2 **OPEN/CLOSE(▲)ボタンを押します。**

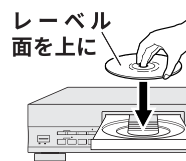
"OPEN"を表示しトレイが出てきます。



■ ディスクトレイを閉める (ディスクを入れる)

- レーベル面を上にしてトレイ部のセンターにディスクをのせてください。
- 8cmディスクをかけるときは、トレイ部に刻まれている円に合わせてのせてください。
- 本機は1枚がけのシステムです。ディスクを2枚以上入れないでください。

3 **ディスクを入れます。**



4 **OPEN/CLOSE(▲)ボタンを押します。**

"CLOSE" を表示しトレイが閉まります。



ディスクトレイは以下の方法でも閉めることができます。

- プレイボタン（►）を押したとき。
- ディスクトレイを軽く手で押したとき。
- ジョグダイヤルを押したとき。

- ディスクを挿入すると、ディスクの種類を判別しディスク情報の読み込みが行なわれます。（このとき"CD？"、"CD-R？"、"CD-RW？" と交互に表示します）

未録音のCD-Rディスクを挿入した場合	NEW DISC CD-R	市販のCD、ファイナライズ済CD-Rディスクを挿入した場合	11-- 55:37 CD "CD"と点滅後、総演奏時間を表示
未録音のCD-RW ディスクを挿入した場合	NEW DISC CD-RW	ファイナライズ済CD-RW ディスクを挿入した場合	11-- 55:37 CD-RW FINALIZE "CD"と点滅後、総演奏時間を表示
録音途中のCD-Rディスクを挿入した場合	10-- 43:12 CD-R "CD-R" と点滅後、総録音時間を表示	ディスク未挿入の場合	NO DISC
録音途中のCD-RW ディスクを挿入した場合	10-- 43:12 CD-RW "CD-RW" と点滅後、総録音時間を表示		

上記のいづれかを表示後、"01　00：00"に表示が変わります。

録音モードについて

ここでは、本機に搭載されている録音モードに関して説明します。

● **CD、DAT 、MD、DCC のソースを録音する場合には、デジタルシンクロ録音をおすすめします。**
トラックナンバーは本機が自動的に更新します。

詳しくは該当するページをご覧ください。

本機でCD-RディスクとCD-RW ディスクに録音する方法は5通りあります。
録音するソースに合わせて選択してください。

デジタルシンクロ録音（１曲） .... 再生機を演奏開始すると、１曲のみ自動的に録音し、演奏が終了すると自動的に録音を停止します。CD、DAT 、MD、DCC からの編集録音に便利な機能です。（録音のしかたは18ページ参照)

デジタルシンクロ録音（全曲） .... 再生機を演奏開始すると、全曲を自動的に録音し、演奏が終了すると自動的に録音を停止します。CD、DAT 、MD、DCC をまるごと録音するのに便利な機能です。（録音のしかたは19ページ参照)

自動ファイナライズ録音 .... 全曲をデジタルシンクロ録音した後、自動的にファイナライズ処理を行なう機能です。（録音のしかたは20ページ参照)

マニュアル・デジタル録音 .... 主に上記以外のデジタル機器の出力から録音する場合に使います。録音の開始および停止はマニュアルで行ないます。（録音のしかたは24ページ参照)

アナログ録音 .... 再生機器のライン出力から録音する場合に使います。（録音のしかたは25ページ参照)

ご注意

*1: 

*2: 

■ 本機ではマーク*1 の付いたCD-Rディスク、マーク*2 の付いたCD-RW ディスクで「FOR CONSUMER」「FOR CONSUMER USE」または「FOR MUSIC USE ONLY」と明記されたディスクが使用可能です。それ以外のディスクを挿入したとき、"Pro DISC" と表示され、録音はできません。（他のCDレコーダーで使用できたCD-RディスクやCD-RW ディスクでも録音することはできません。)
■ CD-Rディスクを挿入するとCD-Rインジケーターが点灯し、CD-RW ディスクを挿入するとCD-RW インジケーターが点灯します。
■ 途中まで録音したディスクに続けて録音する場合、録音済トラックの後から録音を開始します。
CD-Rディスクは１度のみ録音が可能で、録音したデータの消去はできません。いっぽうCD-RW ディスクは録音、データの消去、新たな録音が何度でも可能です。

以下の場合には、RECORDボタンやDIGITAL·SYNCHROボタンを押しても録音できませんのでご注意ください。

- CDインジケーターが点灯したとき(CD かファイナライズ済CD-Rを挿入時）。
- CD-RW インジケーターとファイナライズ・インジケーターが点灯したとき（ファイナライズ済CD-RW を挿入時）。
- ディスクの録音残り時間がなく、"REC FULL"と表示されたとき。
- 99トラック（曲）すでに録音済みで、"REC FULL"と表示されたとき。

録音についてのご注意

■ オーディオ信号以外の記録について

本機はオーディオ信号の記録用（録音用）に設計されていますので、デジタル信号はオーディオ信号に限って録音が可能です。オーディオ信号以外のCD-ROMやドルビーデジタル（AC−3）などのデータは記録できません。また、CDグラフィックやTEXT入りCDのようにその他の情報が含まれた ディスクの場合も、オーディオ信号以外のデータは記録されません。

■ 録音中と"PMA REC" と表示されているときは電源を切らないでください。

録音中、停電や誤って電源コードを抜いてしまって電源が切れた場合には、録音中の最後の部分は記録（録音）されません。
再び電源を入れると、録音が再度可能になるまでは"RESUME"と表示されます。

■ 録音中デジタル入力が遮断された場合

DAT 、DCC 、衛星放送などからのデジタル信号のサンプリング周波数が切り換ったとき、一瞬無音が記録されますが録音は続きます。
衛星放送の信号が途切れたり、デジタル信号線が未接続状態になったり、演奏機側の電源が切れたりした場合、約5秒以内にデジタル信号が再度入力されれば、録音は継続されます。ただし遮断されていた部分は無音となります。また、5秒以上デジタル信号が入力されない場合には録音スタンバイ状態になり、"CAN NOT" 、"REC" と表示します。

■ DAT、DCC からデジタル録音する際のご注意

- DAT 、DCCテープのスタートIDは、必ず音の始まる前に入れてください。
  一般に、DAT 、DCCのオートID機能を使用して作成したテープは、スタートIDが音よりわずかに遅れて記録されています。
  本機では、DAT 、DCCからのデジタル録音時に、このスタートIDで曲の切り換わりを検知しているため、**デジタルシンクロ録音または、マニュアルデジタル録音でトラックナンバーの自動更新を使用した際に、以下のような不具合を生じる場合があります。**
  録音開始時、曲の頭が欠ける。
  録音中、曲の頭よりわずかに遅れて曲番が更新される。
  録音終了時、次の曲の頭が録音される。

  これを防ぐためにDAT 、DCCテープのスタートIDは、マニュアル操作で再入力することをおすすめします。また、不要なスタートIDは削除しておいてください。
  DAT 、DCC の操作方法については、それぞれの取扱説明書を参照願います。

- DAT やDCC などのソースをプログラム演奏しないでください。トラックナンバーが正しく更新されない場合があります。もしプログラム演奏を使用する場合には、1曲ごとに録音を行なってください。

■ １曲の最小録音時間

CDは1曲が4秒以上でなければならないという決まりがあるため、録音開始後すぐにポーズボタン（II)やストップボタン（■)を押しても、無音状態の4秒間のトラックが記録されてからでないと、録音は一時停止または停止しません。その間、他の操作はできませんのでご注意ください。

■ CSやBS放送などからデジタル録音する際のご注意

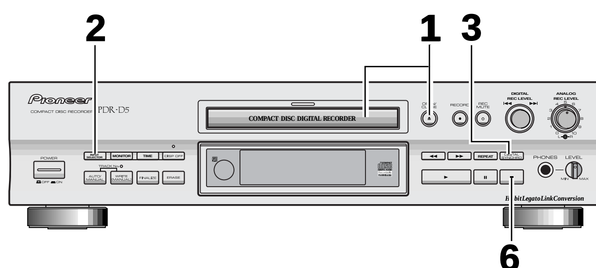
CSやBS放送などからデジタル入力で録音すると、CDからの録音に比べ音声レベルが低く録音される傾向があります。これは、放送局から出される音声レベルが低いためで、故障ではありまん。録音レベルを上げる時はデジタル録音レベルの設定（22ページ）を参照してください。

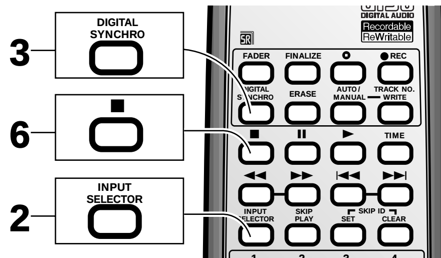
デジタルシンクロ録音のしかた

デジタルシンクロ録音が正しく動作しない場合は43ページを参照してください。

１曲のみ録音するとき（1曲シンクロ録音）

CDやDAT 、MD、DCC プレーヤーから１曲ずつ編集録音するときに便利な操作
（上記以外のデジタル機器及びアナログからの入力では、この機能は使えません）





● ディスク挿入後、CD-RかCD-RW インジケーターの点滅が止まり、点灯したかを確認します。インジケーターが点灯しなかったり、"Pro DISC" などと表示された場合には42ページをご覧ください。

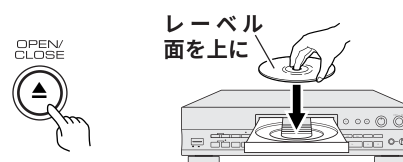
● INPUT SELECTORボタンは押すたびに ANA ➡OPT ➡COA の順に切り替わります。(ANA:ANALOG ,OPT:OPTICAL ,COA:COAXIAL)

● 録音する前に録音する曲目を確認してください。

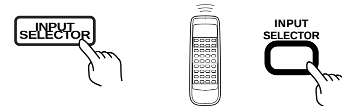
● DIGITAL SYNCHRO ボタンは押すたびに 1-SYNC ➡AL-SYNC ➡ファイナライズ-SYNC ➡録音スタンバイ状態 の順に切り替わります。
１曲のみ録音するこの項では、"1-SYNC"を選択してください。

1 録音可能なCD-Rディスクか CD-RW ディスクを入れます。

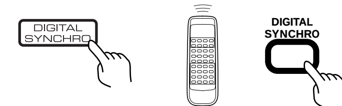
ディスクの入れかたは15ページ参照



2 INPUT SELECTORボタンでデジタル入力（OPTICALまたはCOAXIAL）を選んでください。

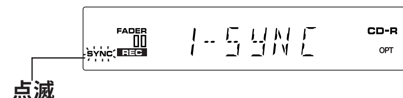


3 DIGITAL SYNCHROボタンを押します。



● 演奏側のプレーヤーが演奏停止（ストップまたはポーズ）していることを確認してください。（演奏中の場合、本機能は働きません）
● ポータブルCDのように、ストップ中デジタル出力がオフになっている製品の場合は、演奏側のプレーヤーを再生ポーズ状態にしておいてください。

● SYNCインジケーターが点滅するまで待ちます。



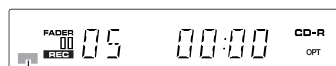
● SYNCインジケーターが点滅するまで、プレーヤーの演奏は始めないでください。

4 演奏側のプレーヤーを演奏開始してください。

● 本機は自動的に録音を開始します。

5 CD、MDからの場合はトラックが変わった時、DAT、DCCからの場合はスタートI D を検出した時に、1 曲シンクロ録音は解除され、録音スタンバイ状態となります。また、約5秒の無音が連続した場合も1曲シンクロは解除されます。

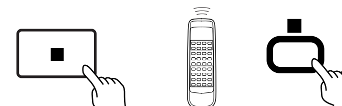
● １曲シンクロ録音を続けて実行するには、3～4の作業を繰り返し行なってください。



SYNCインジケーターが消えている

● 1曲シンクロ録音終了後、SYNCインジケーターが消えているときは、次に録音したい曲を確認することができます。（SYNCインジケーターが消えている間は、シンクロ録音はスタートしません。）

6 ストップボタン(■)を押して、録音を終了します。

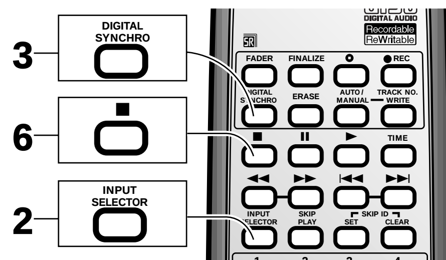


● "PMA REC" と表示し、本機はトラック情報を記録してから停止します。

デジタルシンクロ録音が正しく動作しない場合は43ページを参照してください。

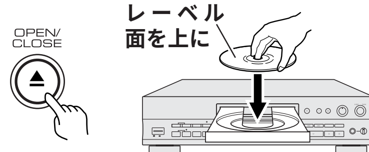
全曲を録音するとき（全曲シンクロ録音）

CDやDAT、MD、DCC プレーヤーから全曲まるごと録音するときに便利な操作
（上記以外のデジタル機器及びアナログからの入力では、この機能は使えません）



- **ディスク挿入後、CD-RかCD-RW インジケーターの点滅が止まり、点灯したかを確認します。インジケーターが点灯しなかったり、"Pro DISC" などと表示された場合には42ページをご覧ください。**

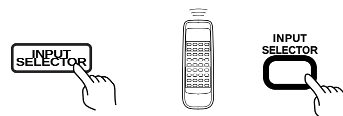
1 録音可能なCD-RディスクかCD-RW ディスクを入れます。



ディスクの入れかたは15ページ参照

- INPUT SELECTORボタンは押すたびに ANA ➡OPT ➡COA の順に切り替わります。(ANA:ANALOG ,OPT:OPTICAL ,COA:COAXIAL)
- 録音する前に録音する曲目を確認してください。

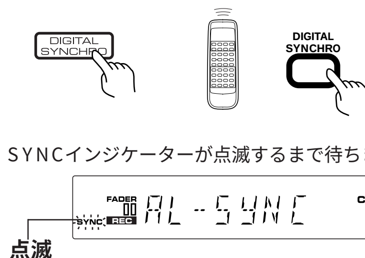
2 INPUT SELECTORボタンでデジタル入力（OPTICALまたはCOAXIAL）を選んでください。



- DIGITAL SYNCHRO ボタンは押すたびに 1-SYNC ➡AL-SYNC ➡ファイナライズ-SYNC ➡録音スタンバイ状態 の順に切り替わります。
  全曲録音するこの項では、"AL-SYNC"を選択してください。

3 DIGITAL SYNCHRO ボタンを2回押します。

- 演奏側のプレーヤーが演奏停止（ストップまたはポーズ）していることを確認してください。（演奏中の場合、本機能は働きません。）
- ポータブルCDのように、ストップ中デジタル出力がオフになっている製品の場合は、演奏側のプレーヤーを再生ポーズ状態にしておいてください。



- SYNCインジケーターが点滅するまで待ちます。

- **SYNCインジケーターが点滅するまで、プレーヤーの演奏は始めないでください。**

4 演奏側のプレーヤーを演奏開始してください。

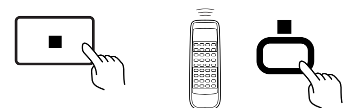
- 本機は自動的に録音を開始します。

5 全曲の録音が終了すると、全曲シンクロ録音スタンバイ状態になります。

- 演奏側のプレーヤーが演奏を終了し約5秒以上無音状態が続いたり、演奏中の曲に5秒以上の無音状態が続くと、本機は3の状態に戻り"AL-SYNC" と再び表示します。
  再度この状態で演奏側のプレーヤーを演奏開始させると、自動的に録音が開始されますのでご注意ください。

6 ストップボタン(■)を押して、録音を終了します。

- "PMA REC" と表示し、本機はトラック情報を記録してから停止します。



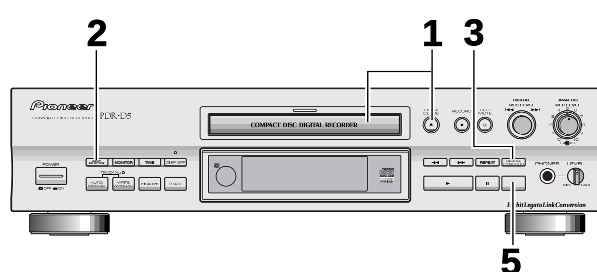
ご注意
- **DAT やDCC からの全曲シンクロ録音中、トラックナンバーはスタートIDが検出されたとき更新されます。**
- **CDやMDを通常再生しながらの全曲シンクロ録音では、再生側ソースのトラックが替わるのと同じタイミングでトラックナンバーが更新されます。しかし、CDやMDがプログラム再生の場合は、トラックが替わった後、最初に音が入力されたタイミングで、トラックナンバーが更新されます。**

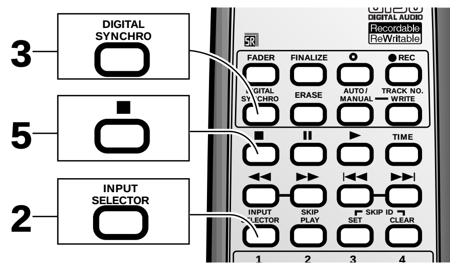
デジタルシンクロ録音のしかた

デジタルシンクロ録音が正しく動作しない場合は43ページを参照してください。

自動ファイナライズ録音

この機能は全曲シンクロ録音が終了した後、自動的にファイナライズ処理を行なうものです。ファイナライズは標準的なCDプレーヤーでCD-RディスクやCD-RW ディスクを再生可能にする、録音の最後の工程です。（ただし、CD-RW ディスクはCD-RW ディスク対応プレーヤーでしか再生できません。）詳しくは31ページをご覧ください。



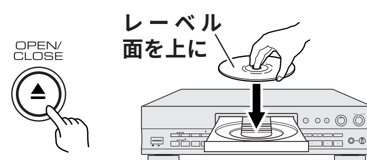


- **ディスク挿入後、CD-RかCD-RW インジケーターの点滅が止まり、点灯したかを確認します。インジケーターが点灯しなかったり、"Pro DISC" などと表示された場合には42ページをご覧ください。**

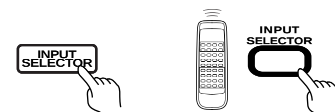
- アナログ入力ではこの機能は使えません。
- INPUT SELECTORボタンは押すたびに ANA ➡OPT ➡COA の順に切り替わります。
(ANA:ANALOG ,OPT:OPTICAL ,COA:COAXIAL)
- 録音する前に録音する曲目を確認してください。
- DIGITAL SYNCHRO ボタンは押すたびに 1-SYNC ➡AL-SYNC ➡ファイナライズ-SYNC ➡録音スタンバイ状態 の順に切り替わります。
自動ファイナライズ録音を行なうこの項では、"ファイナライズ-SYNC" を選択してください。

1 録音可能なCD-RディスクかCD-RW ディスクを入れます。

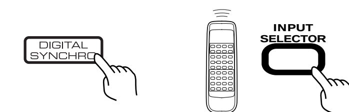
ディスクの入れかたは15ページ参照。



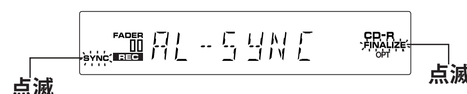
2 INPUT SELECTORボタンでデジタル入力（OPTICALまたはCOAXIAL）を選んでください。



3 DIGITAL SYNCHROボタンを3回押します。



- 演奏側のプレーヤーが演奏停止（ストップまたはポーズ）していることを確認してください。（演奏中の場合、本機能は働きません。）
- ポータブルCDのように、ストップ中デジタル出力がオフになっている製品の場合は、演奏側のプレーヤーを再生ポーズ状態にしておいてください。
- SYNCインジケーターが点滅するまで待ちます。



- **SYNCインジケーターが点滅するまで、プレーヤーの演奏は始めないでください。**

4 演奏側のプレーヤーを演奏開始してください。

- 本機は自動的に録音を開始します。

- **演奏側のプレーヤーが演奏を終了し約5秒以上無音状態が続いたり、演奏中の曲に5秒以上の無音状態が続くと、本機は右の3の状態に戻り"AL-SYNC" と再び表示します。再度この状態で演奏側のプレーヤーを演奏開始させると、自動的に録音が開始されますのでご注意ください。**

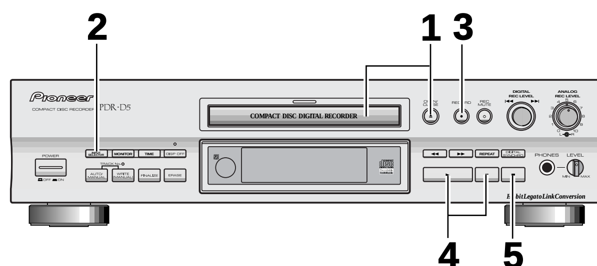
- **ファイナライズ処理中には決して電源を切らないでください。**

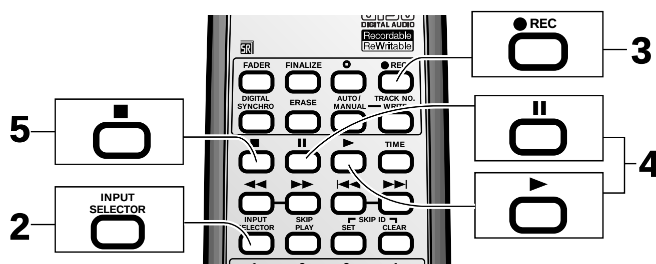
5 自動ファイナライズ録音中、演奏側のストップまたはポーズ状態もしくは無音状態が１分以上続くと、本機は録音が終了したものと判断し自動的にファイナライズ処理を開始します。

- ファイナライズ処理が完了するまでに通常約4分ほどの時間がかかります。
- 詳しくは31ページをご覧ください。
- **ファイナライズが開始されるまでは、ストップボタン（■）かDIGITAL SYNCHROボタンを押すと解除できます。**
- ファイナライズが開始されると操作ボタンは一切働きません。
- 録音残り時間がなかったり99曲以上が記録されたとき、ファイナライズ処理はされずに録音は終了します。引き続きファイナライズを行なう場合は31ページの「ファイナライズのしかた」に従ってください。

マニュアルデジタル録音のしかた

主にCDやDAT 、MD、DCC プレーヤー以外のデジタル機器のデジタル出力から録音するときに使います。
(CD 、DAT 、MD、DCC プレーヤーからの録音はデジタルシンクロ録音が便利です。)





- **ディスク挿入後、CD-RかCD-RWインジケーターの点滅が止まり、点灯したかを確認します。インジケーターが点灯しなかったり、"Pro DISC"などと表示された場合には42ページをご覧ください。**

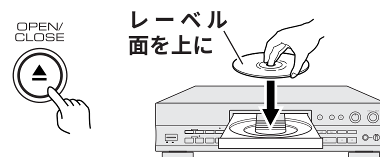
- INPUT SELECTORボタンは押すたびに ANA ➡OPT ➡COA の順に切り替わります。(ANA:ANALOG ,OPT:OPTICAL ,COA:COAXIAL)
- AUTO TRACKインジケーターが点灯しているとき、トラックナンバーは自動的に更新されます。CD、DAT、MD 、DCC や他のデジタルソースの録音中、トラックナンバーはデジタル信号情報によって自動的に更新されます。しかし、トラックナンバーを持たない衛星放送のようなデジタルメディアの場合は、アナログ・ソースのときと同様に2秒以上の無音状態をトラック間の区切りと認識して、自動的にトラックナンバーを更新します。このため、無音状態の多いクラシック音楽などは、実際よりもトラック数が多く記録されてしまうことがあります。これを防ぐにはトラックナンバーの自動更新機能を解除して、トラックナンバーの更新をマニュアルで行なってください。(26 ページ参照)

- **カウンター表示が"00:00" となった後、ポーズ（II）かプレイボタン（►）を押します。**

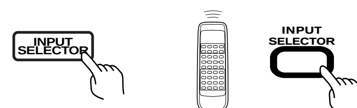
- **デジタル入力にソースが入力されないと"CAN NOT" と"REC" が表示され、録音は開始されません。SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）による録音禁止信号を確認すると"CAN NOT" と"COPY" が表示され、録音は開始されません。（23、42ページを参照）**

1 録音可能なCD-RディスクかCD-RW ディスクを入れます。

ディスクの入れかたは15ページ参照

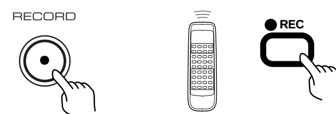


2 INPUT SELECTORボタンでデジタル入力（OPTICAL またはCOAXIAL）を選んでください。



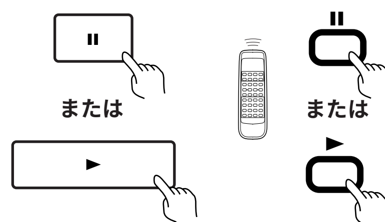
3 RECORDボタン(●REC)を押します。

録音スタンバイ状態になります。



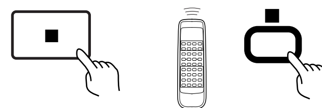
4 録音スタンバイ状態でポーズボタン(II)かプレイボタン(►)を押します。

- 録音を開始します。

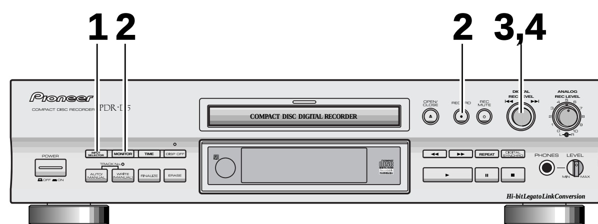


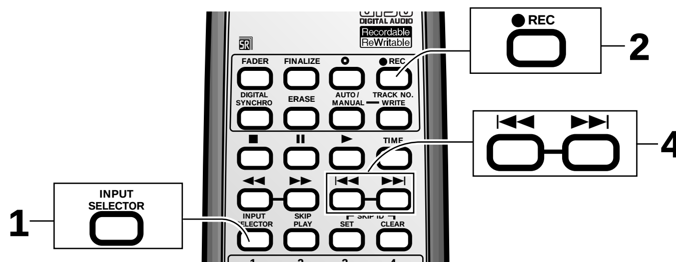
5 録音したい曲が終わったらストップボタン(■)を押します。

- 録音を終了します。
- "PMA REC" と表示し、本機はトラック情報を記録してから停止します。



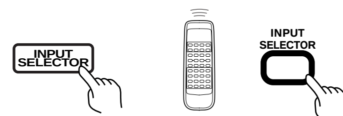
デジタル録音レベルの設定



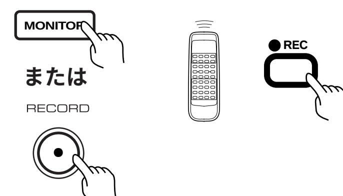


- INPUT SELECTORボタンは押すたびに ANA ➡OPT ➡COA の順に切り替わります。(ANA:ANALOG ,OPT:OPTICAL ,COA:COAXIAL)

1 INPUT SELECTORボタンでデジタル入力（OPTICALまたはCOAXIAL）を選んでください。

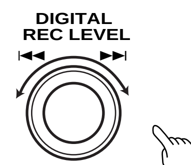


2 演奏停止中にモニターボタンを押します。



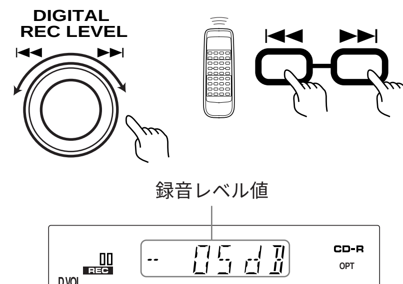
- RECORDボタン（●REC）ボタンでも操作できます。

3 ジョグダイヤルを押して、デジタル録音レベル表示にします。



- ジョグダイヤルを回してもデジタル録音レベルの表示になります。

4 ジョグダイヤルまたは⏮ ⏭ボタンで録音レベルを調整します。



- 4秒間何も操作をしないと、時間表示に戻ります。また、他の操作をしたり、ジョグダイヤルを押しても時間表示に戻ります。

録音レベル値

05dB
CD-R
OPT
REC
D.VOL

- レベル値が0dB以外の時は、**D.VOL**インジケータが点灯し、録音レベルが変わったことを示します。
- 設定可能なレベル値は、＋12dB～－48dBです。
  ＋12dB～－25dBは1dBステップで設定可能です。それ以下は－30dB、－36dB、－42dB、－48dBの設定が可能です。

- **デジタル録音レベル設定時はオーバーレベルにならないように注意してください。**
- **録音中、録音スタンバイ中またはモニター中にデジタル録音レベルの調整ができます。**
- **デジタル録音レベルを変化させても、DIGITAL OUT端子からのモニター音のレベルは変わりません。**
- **OPTICAL、COAXIALそれぞれのデジタル入力でデジタル録音レベルの調整ができます。**
- **設定したデジタル録音レベルの値は記憶されています。**

モニターについて

モニターボタンを押すと選択されている入力ソースをモニターすることができます。

モニターボタンを押すと、"INPUT" →"CD"→"44k" →"MONI"と表示します。（入力ソースによっては44kではなく、32k、48kとなります）

- 入力されている再生機器の名前は入力ソースがCD、DAT 、MD、DCC、DVD の場合で、デジタル入力されている時のみ表示します。
- CD、CDV 、LDなどからデジタル録音するときは、再生機器名はすべて"CD"と表示します。



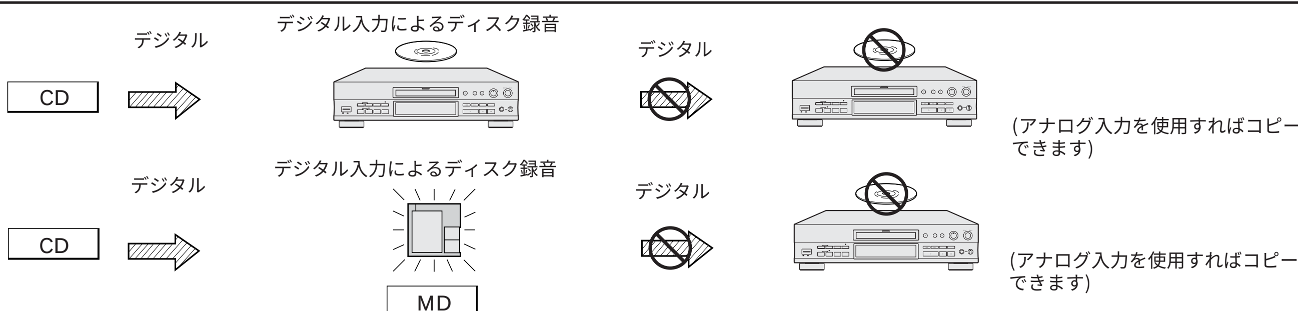
SCMS

SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）について

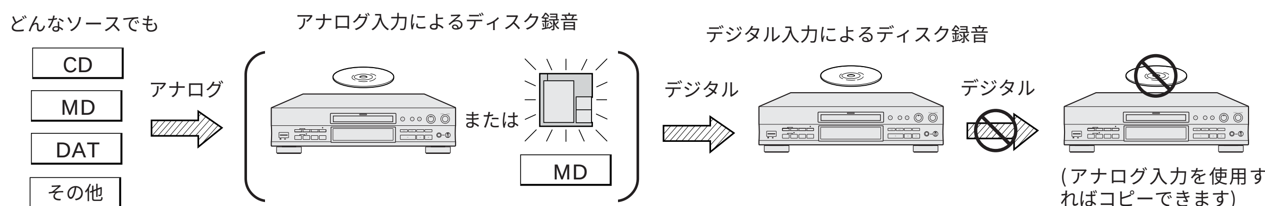
SCMSは無秩序なコピーを防止するためにデジタル信号にコピー禁止信号を付加した機能です。SCMSでは、基本的にCDなどのデジタルソースから第1世代のみデジタル入力によるコピーが可能です。

コピーが禁止されている例

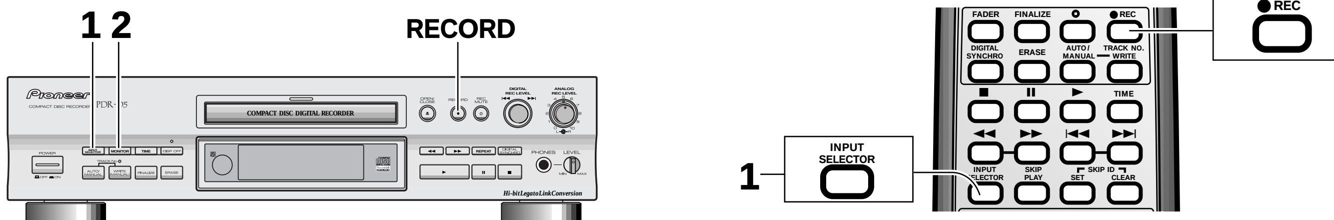
1　著作権法で保護されているCDやMDなどからは第１世代のみデジタル入力によるコピーが可能です。



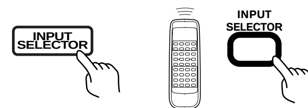
2　アナログ入力で録音されたディスクなら、オリジナルソースに関係なく第１世代のみデジタル入力によるコピーが可能です。



デジタルコピーの許可／禁止状態を調べるには



1　INPUT SELECTORボタンでデジタル入力（OPTICALまたはCOAXIAL）を選んでください。



- RECORDボタン（●REC）を押しても録音可能かどうかを調べられます。

2　MONITORボタンを押します。



- "MONI" と表示します。

3　演奏側のプレーヤーを演奏開始します。

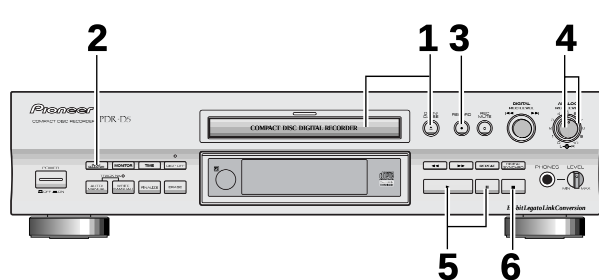
- "MONI"と表示されたままなら、コピー可能です。コピー禁止の場合は、"CAN NOT""COPY" と表示します。

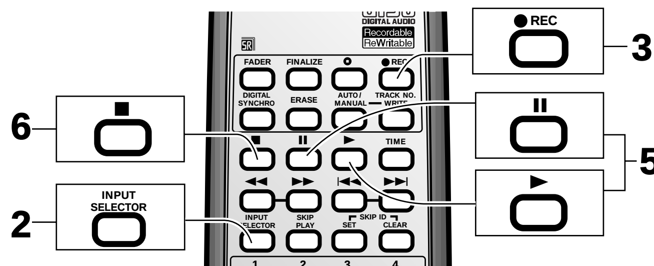
録音中にコピー禁止信号が検出された場合

録音中、演奏側のプレーヤーのデジタル信号にコピー禁止信号があった場合には、録音が一時停止し、"CAN NOT""COPY" と表示します。コピーが再び許可されると録音を続行します。

アナログ録音のしかた

レコードプレーヤー、カセットデッキなどのアナログ出力からの録音に便利です。





- **ディスク挿入後、CD-RかCD-RWインジケーターの点滅が止まり、点灯したかを確認します。インジケーターが点灯しなかったり、"Pro DISC"などと表示された場合には42ページをご覧ください。**

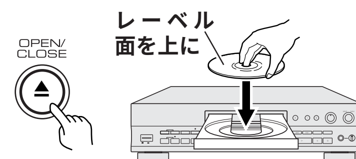
- INPUT SELECTORボタンは押すたびに ANA ➡OPT ➡COA の順に切り替わります。(ANA:ANALOG ,OPT:OPTICAL ,COA:COAXIAL)

- AUTO TRACKインジケーターが点灯しているとき、トラックナンバーは自動的に更新されます。この機能は、2秒以上の無音状態をトラック間の区切りと認識して、自動的にトラックナンバーを更新します。このため、低い入力レベルや雑音が続く状態では、トラックナンバーを更新する場所が正しく判断されないことがあります。このような場合には、トラックナンバーの更新をマニュアルで行なってください。(26 ページ参照)

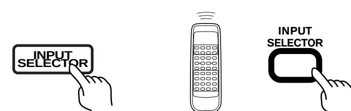
- **カウンター表示が"00:00" となった後、ポーズ (II)かプレイボタン (►)を押します。**

1 録音可能なCD-Rディスクか CD-RW ディスクを入れます。

ディスクの入れかたは15ページ参照

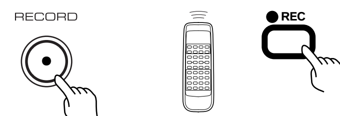


2 INPUT SELECTORボタンで アナログ入力（ANALOG）を 選んでください。



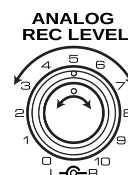
3 演奏停止中にRECORDボタン (●REC)を押します。

録音スタンバイ状態になります。



4 アナログ録音レベルつまみで 録音レベルを調整します。

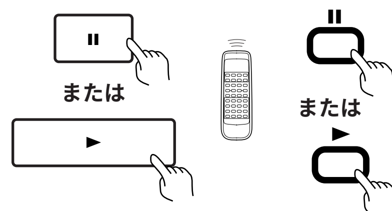
調整のしかたは、25ページ参照



- 演奏側のプレーヤーを一度演奏開始し、録音レベルを調整後、再度停止させます。

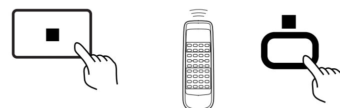
5 録音スタンバイ状態でポーズ ボタン(II)かプレイボタン(►) を押します。

- 録音を開始します。



6 録音したい曲が終わったらス トップボタン(■)を押します。

- 録音を終了します。
- "PMA REC" と表示し、本機はトラック情報を記録してから停止します。



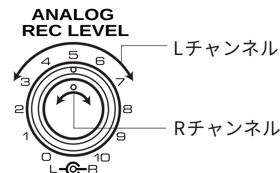
アナログ録音レベルの設定

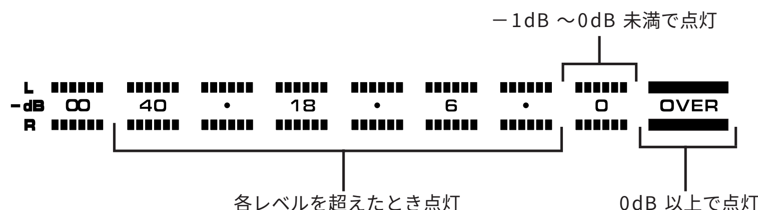
■調整の目安

アナログ入力で録音する場合、録音レベルは一番大きな音が入ったときオーバーレベル表示が点灯しないように調整します。オーバーレベルが点灯すると音が歪みます。

■レベルメーターについて

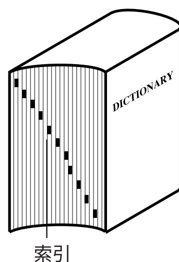
録音時の入力レベル、演奏時の演奏レベルを表示します。





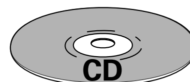
■トラックナンバーの記録について

一般のCDにはあらかじめトラックナンバーが記録されています。したがって任意の曲を選び演奏することができるのです。CDレコーダーで録音する場合はトラックナンバーの記録が必要です。CD、MD、DAT 、DCC などトラックナンバーがすでにあるソースからのデジタル録音の場合は、曲の変わり目と音の検出をしてトラックナンバーを自動的に記録することができます。
アナログ入力や衛星放送などトラックナンバー情報を含まないソースからの録音の場合は、曲の替わり目にマニュアルでそのつどトラックナンバーを記録する必要があります。（録音が全て終了してからのトラックナンバーの書き込みはできませんので十分ご注意ください。）
操作のしかたは26ページをご覧ください。



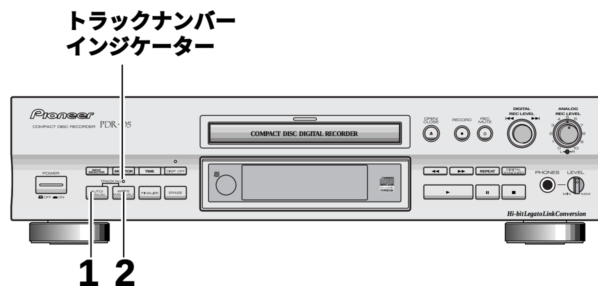
索引

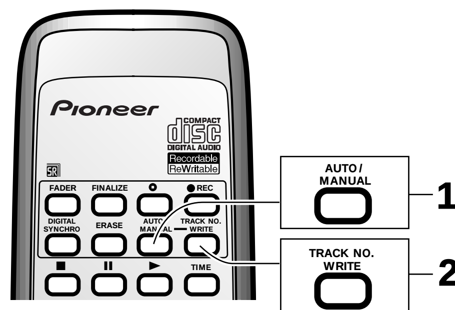
CDにも辞書の索引と同じようなトラックナンバーが記録されている。



トラックナンバーの更新

録音スタンバイ状態に入った時は、トラックナンバーの自動更新モードが自動的に選ばれています。





- **1度更新したトラックナンバーは後から書き替えることはできません。**

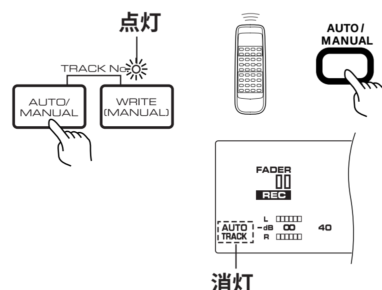
- トラックナンバー・インジケーターが点灯していないときは、WRITE (MANUAL)ボタンは働きません。

- 録音が始まって4秒以上経過したあとから、WRITE (MANUAL)ボタンでトラックナンバーの更新ができます。トラックナンバー更新後4秒間はトラックの更新はできません。（17ページ参照）

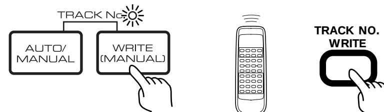
■ トラックナンバーのマニュアル更新

1 録音スタンバイ状態でトラックナンバーAUTO/MANUALボタンを押してインジケーターを点灯させます。

- 表示窓のAUTO TRACK インジケーターを消灯させます。



2 録音中トラックナンバーを更新したい場所で、トラックナンバーWRITEボタンを押します。



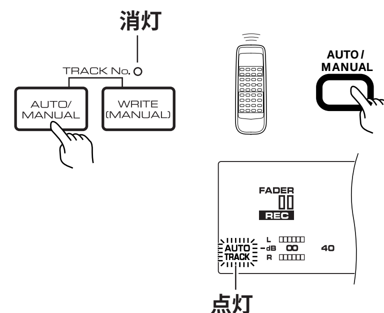
- 録音中、トラックナンバーは音楽信号やデジタル信号の検出によって自動的に更新されます。

- 曲間が極端に短いとき、トラックナンバーが更新されない場合があります。

■ トラックナンバーの自動更新

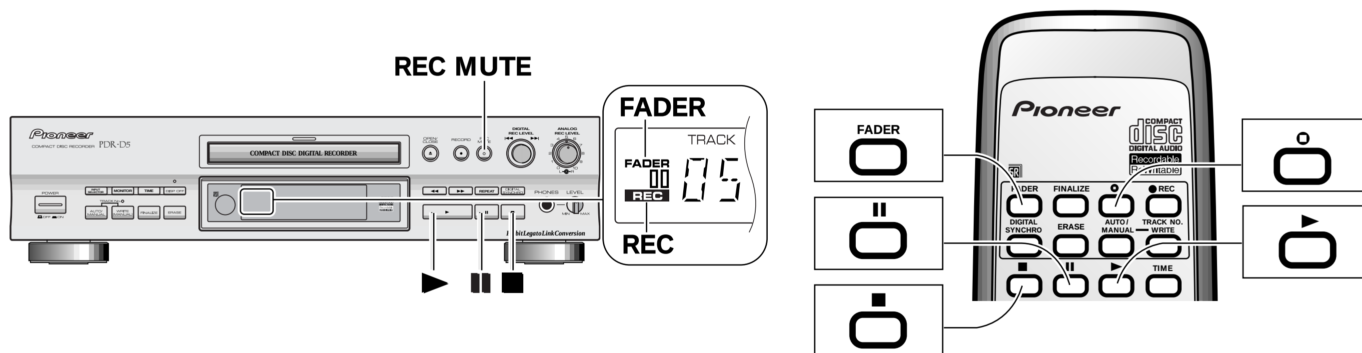
1 録音スタンバイ状態でトラックナンバーAUTO/MANUALボタンを押してインジケーターを消灯させます。

- 表示窓のAUTO TRACKインジケーターを点灯させます。



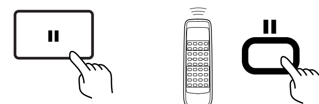
ご注意
- アナログソースを録音する場合、曲が極めて低いレベル信号を含んでいると、トラックナンバーが正確に更新されないことがあります。この場合には、トラックナンバーのマニュアル更新を利用してください。
- 衛星放送をデジタル録音する場合も、トラックナンバーが正確に更新されないことがあります。この場合にも、トラックナンバーのマニュアル更新を利用してください。

録音時の便利な機能



録音を一時停止する

一時的に録音を停止するにはポーズボタン(II)を押します。

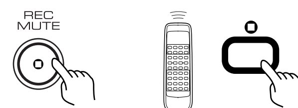


- 録音スタンバイ状態が約10分間続くと、録音スタンバイ状態は解除されます。録音スタンバイ状態に入るには、再度RECORDボタンを押します。
- 再度録音を開始するには、プレイボタン(▶)かポーズボタン(II)を押します。

曲の終わりに無音部分をつくる

録音中または録音スタンバイ中にREC MUTEボタン(O)を押します。

REC インジケーターが点滅し、無音を録音します。約4秒後自動的に録音スタンバイ状態になります。



- 4秒以上の無音部分をつくるには、REC MUTEボタンを押し続けてください。ボタンから手を放すと、録音スタンバイ状態に入ります。

- **REC MUTEボタンは録音中か、録音状態から録音スタンバイ状態に入ったときに一度だけ有効です。停止状態から録音スタンバイ状態に入ったときや１度無音部分をつくった後では、REC MUTEボタンは働きません。**

- 再度録音を開始するには、プレイボタン(▶)かポーズボタン(II)を押します。
- 録音を終了するには、ストップボタン（■）を押します。

フェードインしながら録音を開始する

録音スタンバイ状態で、FADERボタンを押します。

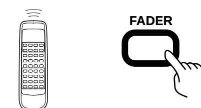
徐々に音量を上げながら録音します。この間、FADERインジケーターが点滅します。



フェードアウトしながら録音を終了する

録音中にFADERボタンを押します。

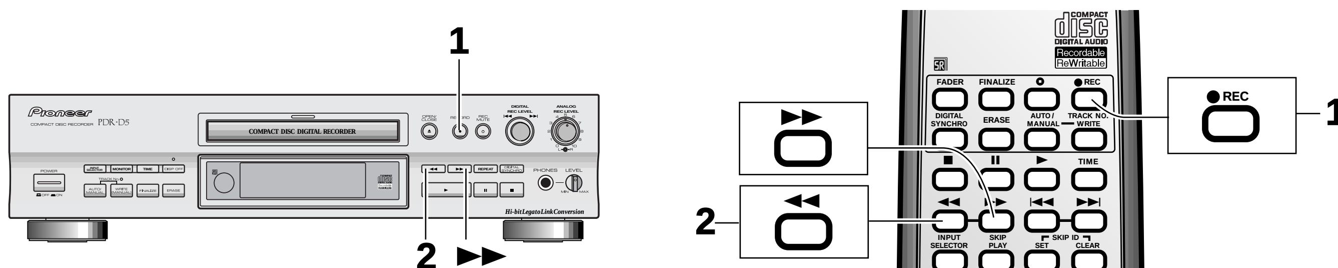
徐々に音量を下げながら録音します。この間、FADERインジケーターが点滅します。ボタンを押して約5秒後に録音は終了し、録音スタンバイ状態になります。



- 再度録音を開始するには、プレイボタン(▶)かポーズボタン(II)を押します。
- 録音を終了するには、ストップボタン（■）を押します。

録音中、録音残量時間が3秒以下になった場合、自動的にフェードアウトして録音を終了します。出来上がったディスクを演奏中、最後で突然音が途切れるのを防ぎます。

録音時の便利な機能

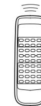
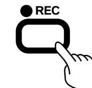


ディスクの途中から録音する前に、録音されている最後の部分を確認する

- 早戻しボタン（◀◀）を押し続けると、録音されている最後の部分から約2分間戻って再生を開始します。
- 再生中にRECORDボタン（●REC）を押すと、録音スタンバイ状態に戻ります。
- 早送りボタン（▶▶）を押すと、録音されている最後の部分まで早送りすることができます。
- 録音されている最後の部分までの再生中は❚❚インジケーターが消灯します。

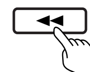
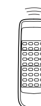
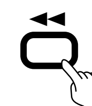
1 RECORDボタン(●REC)を押して録音スタンバイ状態にします。



2 録音スタンバイ状態で◀◀ ボタン(早戻し)を押し続けます。

- ボタンを押し続けている間、早戻しをします。ボタンを放すと、録音されている最後の部分まで演奏を行い、再度録音スタンバイ状態になります。

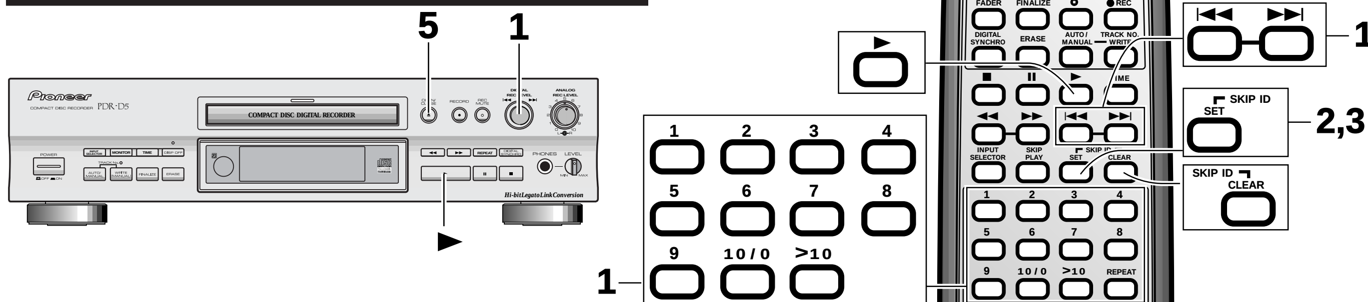




スキップ情報について

録音を失敗した曲や無音状態の曲にあらかじめスキップ情報を指定しておくと、その曲を飛び越して演奏します。

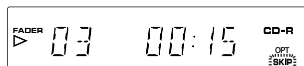
ご注意
スキップ情報の指定と解除は、最大21曲までです。スキップ情報を何度も指定・解除すると、スキップ情報を指定できる曲数が少なくなる場合もあります。
市販のCDやファイナライズ済みCD-Rディスク・CD-RWディスクでは、スキップ情報の指定・解除はできません。

● スキップ演奏はスキップ機能のないCDプレーヤーでは働きません。



■ スキップ情報の指定（トラック・スキップ）

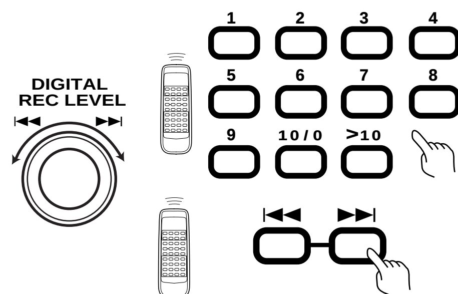
● スキップ情報がすでに指定されている場合は、表示窓のSKIPインジケーターが点灯します。



点灯

1 スキップしたい曲を演奏します。

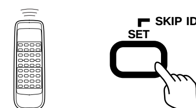
● ジョグダイヤルを回すかリモコンの数字ボタンまたはトラック・サーチボタン（⏮または⏭）で曲を選択します。



● "∗∗　SKIP"、"SET?"が表示されている間にジョグダイヤルを回すかトラック・サーチボタン（⏮または⏭）を押すと、スキップ情報の指定されていない曲が、順番に演奏されます。
● 選択した曲は、繰り返し演奏されます。
● 指定モードを中止するには、プレイボタン(▶)かSKIP ID CLEARボタンを押します。

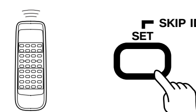
2 SKIP ID SETボタンを押します。

● "∗∗　SKIP"と"SET?"が交互に表示されます。



● スキップ情報は指定・解除の数が限られており、"FULL"と表示されたときはそれ以上の指定・解除ができません。

3 スキップ情報を指定してよい場合は、SKIP ID SETボタンを再度押します。



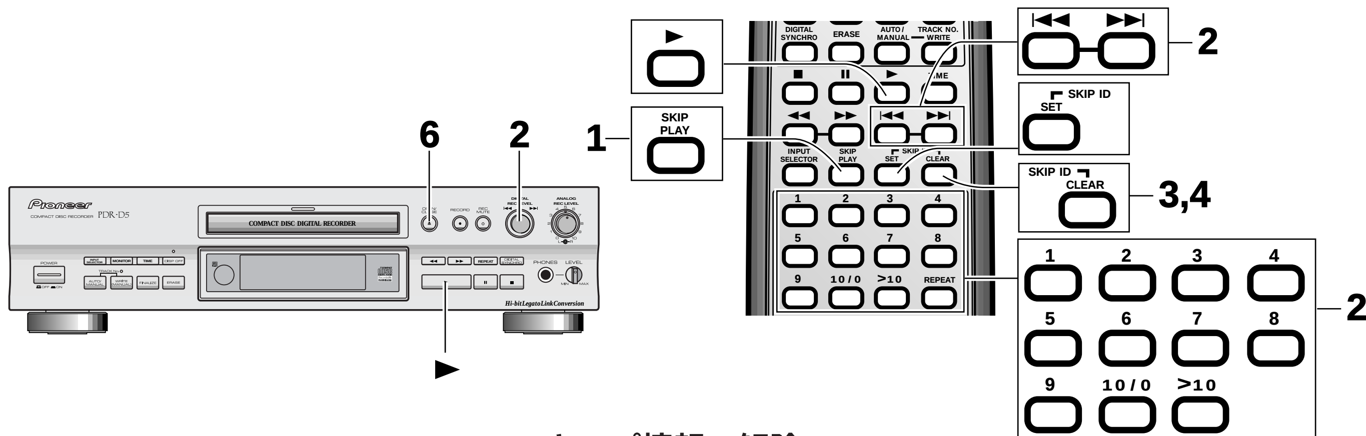
4 他の曲のスキップ情報を指定するには、1～3　の作業を繰り返します。

● ディスクを取り出そうとしてボタンを押すと、スキップ情報がディスク上に記録されます。このとき、数秒間"OPEN"表示が点滅します。スキップ情報が記録された後、トレイが開きます。

5 スキップ情報の指定が終了後、OPEN/CLOSEボタン(⏏)を押します。



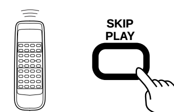
スキップ情報について

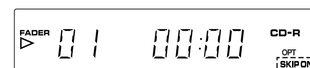


■ スキップ情報の解除

- スキップ情報を持たないCD-RディスクやCD-RWディスクでは、SKIP ONインジケーターは点灯しません。

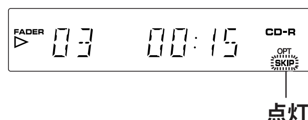
1 SKIP PLAYボタンを押して、SKIP ONインジケーターを消灯させます。





SKIP ON インジケーターが消える。

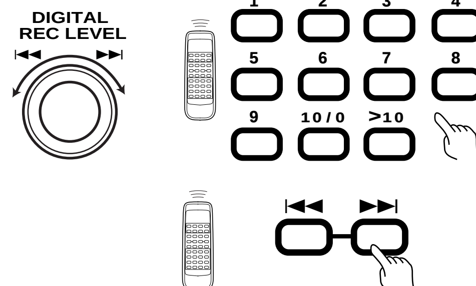
- スキップ情報が指定されていると、表示窓にSKIPインジケーターが点灯します。



点灯

2 スキップを解除したい曲を演奏します。

- ジョグダイヤルを回すかリモコンの数字ボタンまたはトラック・サーチボタン（I◀◀または▶▶I）で曲を選択します。



- "＊＊　SKIP"、"CLEAR?"が表示されている間にジョグダイヤルを回すかトラック・サーチボタン（I◀◀または▶▶I）を押すと、スキップ情報の指定されている曲が、順番に演奏されます。
- 選択した曲は、繰り返し演奏されます。
- スキップ情報の指定されていない曲を演奏中にSKIP ID CLEARボタンを押すと、スキップ情報の指定された次の曲を探し（次の曲がない場合はディスクの最初へ戻る）、演奏を開始します。（スキップ情報を持たないディスクでは働きません）
- 解除モードを中止するには、プレイボタン（▶）かSKIP ID SETボタンを押します。

3 SKIP ID CLEARボタンを押します。

- "＊＊　SKIP"と"CLEAR?" が交互に表示されます。



4 スキップ情報を解除してよい場合は、SKIP ID CLEARボタンを再度押します。



5 他の曲のスキップ情報を解除するには、2～4　の作業を繰り返します。

- ディスクを取り出そうとしてボタンを押すと、スキップ情報がディスク上に記録されます。このとき、数秒間"OPEN"表示が点滅します。スキップ情報が記録された後、トレイが開きます。

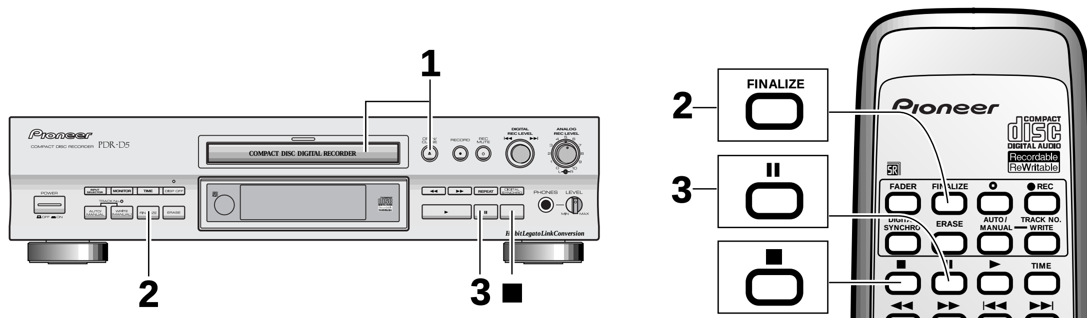
6 スキップ情報の解除が終了後、OPEN/CLOSEボタン(⏏)を押します。



ファイナライズ(TOC記録)

ファイナライズとは

- ファイナライズとは、録音を終了したCD-RディスクやCD-RW ディスクを一般のCDプレーヤーで演奏できるようにする最終処理です。（ただし、CD-RW ディスクはCD-RW ディスク対応プレーヤーでしか演奏できません。）
- ファイナライズしたCD-Rディスクは、これ以上録音することもスキップ指定・解除することもできません。ご注意ください。
- ファイナライズ中は絶対に電源を切らないでください。ディスク破損の原因となります。

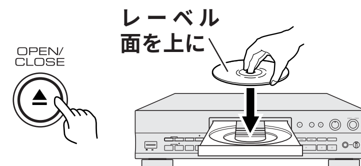


ファイナライズのしかた

- ディスクにキズやホコリ、汚れがないか確認してください。
もしディスクにホコリや汚れがあるときは、9ページの「ディスクの手入れ」をご覧ください。

1 録音が終了したCD-RディスクかCD-RWディスクを入れます。

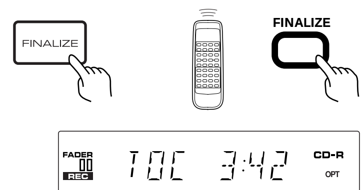
ディスクの入れかたは15ページ参照



- ファイナライズしないときは、ストップボタン（■）を押してください。ファイナライズスタンバイ状態を解除します。

2 FINALIZEボタンを押します。

- このとき本機は、ファイナライズスタンバイ状態です。



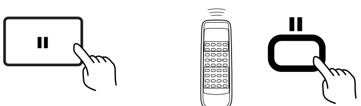
- ディスクによって表示時間は異なります。

■ 時間情報が表示されるまでお待ちください。

- 10分以上ファイナライズスタンバイ状態が続くと、自動的に解除されます。

3 ポーズボタン(II)を押します。

- ファイナライズを開始します。
- ファイナライズ中は完了するまでの残り時間を表示します。



- ファイナライズ開始後は、処理が完了するまで操作ボタンを受け付けません。
- ファイナライズが完了するまで約4分かかります。
- CD-Rディスクのファイナライズが完了すると、CD-RインジケーターはCDインジケーターに替わります。そして、本機は自動的に停止状態になります。
- CD-RW ディスクのファイナライズが完了すると、FINALIZEインジケーターが点灯します。そして、本機は自動的に停止状態になります。

ご注意
- キズや汚れ、ホコリのあるディスクをファイナライズすると、処理が完了しない場合があります。
約10分経過しても処理が完了しない場合は、ストップボタン（■）を押して強制的に処理を中断することができます。
ただし、このディスクは一般のCDプレーヤーでは演奏できません。
- ファイナライズ中は絶対に電源コードを抜かないでください。
ファイナライズ中、停電になったり誤って電源を切ってしまった場合には、次に電源を入れたとき修復処置として残りのファイナライズ処理を続けます。処理が完了するまで、"RESUME"と表示します。ディスクは正しく修復されない場合もあります。

消去について（CD-RWディスクのみ）

CD-RW ディスクの消去

CD-RW ディスクは消去した後に新たな録音が可能です。消去の方法は以下の通りです。

ファイナライズしていないCD-RWディスク

■ **最終曲消去・・・**ディスクの最終曲を消去します。
■ **マルチトラック消去・・・**ディスクの指定した曲から最終曲までをまとめて消去します。
■ **全曲消去・・・**ディスクのすべての曲を消去します。

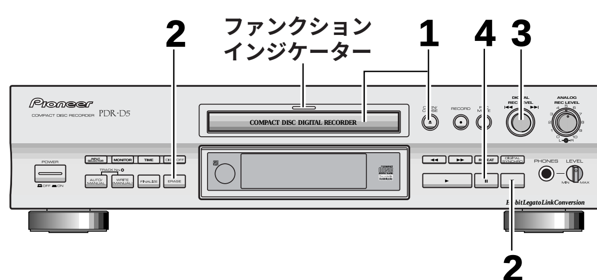
ファイナライズ済みCD-RWディスク

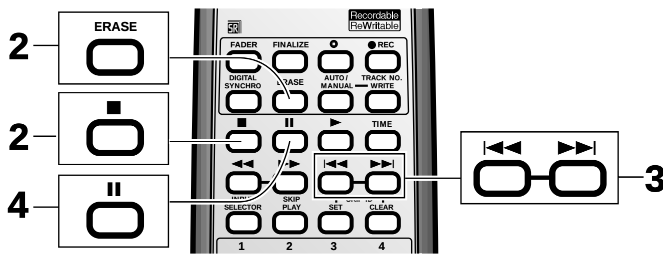
■ **全曲消去・・・**ディスクのすべての曲を消去します。
■ **TOC消去・・・**ファイナライズしたCD-RWディスクを、ファイナライズ前の状態に戻します。

ディスクの消去・・・ディスク上のすべての情報を消去します。

ご注意

- 消去中に電源が切れたり不注意により電源を切ってしまった場合は、再度電源を入れてください。消去作業は再度自動的に開始します。
- 消去中、"CHECK" 、"DISC"のメッセージが現れて消去が停止した場合、ディスクを取り出してキズや汚れ、ホコリがないことを確認し、再度消去を行なってください。
- **消去作業の後、電源を切る前には必ずディスクを取り出してください。**
  本体にディスクを残したまま電源を切ってしまうと、消去が完全におこなわれないことがあります。

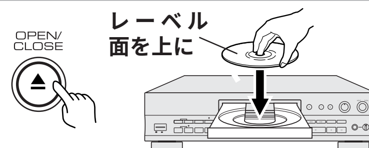




ファイナライズしていないCD-RWディスクの消去
（数秒で完了します）

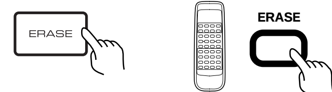
1 消去したいCD-RWディスクを入れます。

ディスクの入れかたは15ページ参照



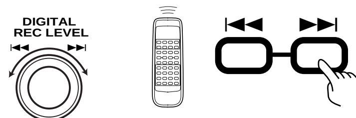
2 ERASEボタンを押します。

- 表示窓に"ERASE"、"LAST?"と表示した後、ファンクション・インジケーターが点滅し、消去スタンバイの状態になります。
- 消去しないときは、ERASEボタンをもう一度押すかストップボタン（■）を押してください。消去のスタンバイを解除します。



3 ジョグダイヤルを回して、消去モードを選びます。

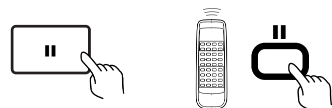
- リモコンの場合は、トラックサーチボタン（⏮または⏭）で行います。



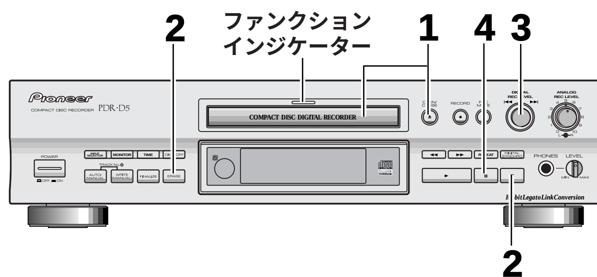
- 消去モードはジョグダイヤルを回すたびに LAST? ↔ALL? ↔ ＊＊-LAST? の順に切り替わります。
(LAST :最終曲消去、ALL :全曲消去、＊＊-LAST :＊＊は消去を開始するトラックナンバー、LASTは消去する範囲の最終曲)

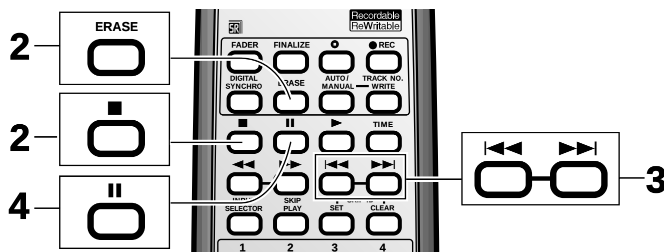
4 ポーズボタン(⏸)を押します。

- ファンクション・インジケーターが 点灯し、消去を開始します。
- 消去中は"ERASE" と表示します。



- 消去が完了すると本機は停止します。





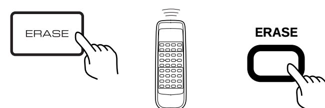
ファイナライズ済みCD-RW ディスクの消去
（約3分で完了します）

1 消去したいCD-RWディスクを入れます。



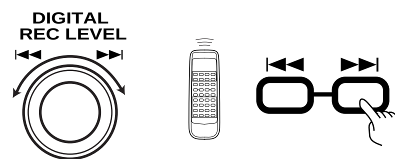
ディスクの入れかたは15ページ参照

2 ERASEボタン押します。



- 表示窓に"ERASE"、"TOC?"と表示した後、ファンクション・インジケーターが点滅し、消去スタンバイの状態になります。
- 消去しないときは、ERASEボタンをもう一度押すかストップボタン（■）を押してください。消去のスタンバイを解除します。

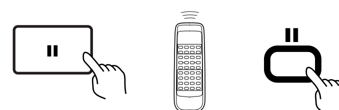
3 ジョグダイヤルを回して、消去モードを選びます。



- リモコンの場合は、トラックサーチボタン（⏮ または⏭ ）で行います。

- 消去モードはジョグダイヤルを回すたびに TOC? ↔ALL?　の順に切り替わります。(TOC :TOC消去、ALL :全曲消去)

4 ポーズボタン(⏸)を押します。

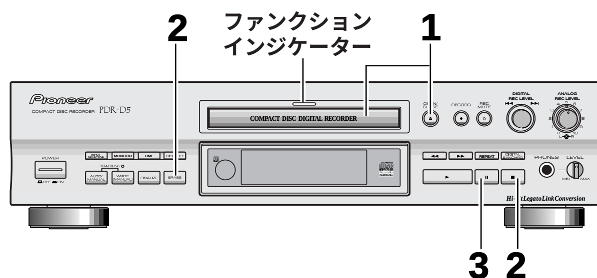


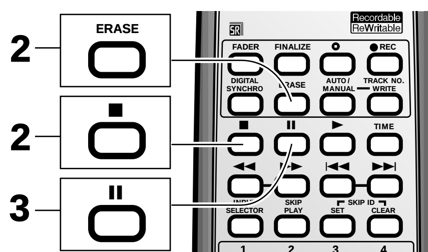
- ファンクション・インジケーターが点灯し、消去を開始します。
- 消去中は、残りの時間を"ERS＊：＊＊" で表示します。

- 消去作業を強制終了するには、ストップボタン（■）を約10秒間押し続けてください。**このディスクを次に使用する時は、必ずディスク消去を行なってください。（強制終了したディスクは正常に消去されていません）**

● 消去が完了すると本機は停止します。

消去について（CD-RWディスクのみ）





ディスクの消去

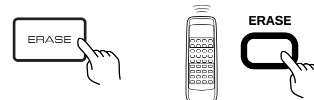
（ディスクの最大録音可能時間に約5分を追加した時間がかかります。）

1 消去したいCD-RWディスクを入れます。



ディスクの入れかたは15ページ参照

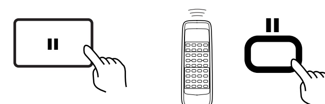
2 ERASEボタンを4秒間押し続けます。



- 表示窓に、"ALL" 、"DISC"、"ERASE?"、"dE ＊＊：＊＊"と表示した後、ファンクション・インジケーターが点滅し、消去スタンバイの状態になります
- 消去しないときは、ストップボタン（■）を押してください。消去のスタンバイを解除します。

2の状態で、4分間ポーズボタンが押されないと、ディスク消去を解除し、停止します。

3 ポーズボタン(II)を押します。

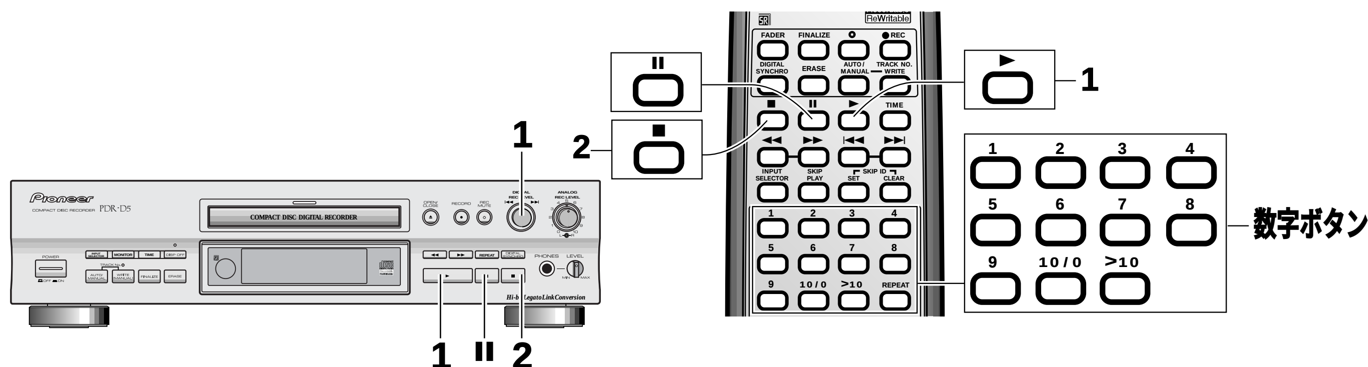


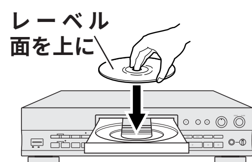
- ファンクション・インジケーターが点灯し、ディスク消去を開始します。
- ディスク消去中は、残り時間を"dE ＊＊：＊＊"で表示します。

- 消去作業を強制終了するには、ストップボタン（■）を約10秒間押し続けてください。**このディスクを次に使用する時は、必ずディスク消去を行なってください。（強制終了したディスクは正常に消去されていません）**

- 消去が完了すると本機は停止します。

演奏のしかた



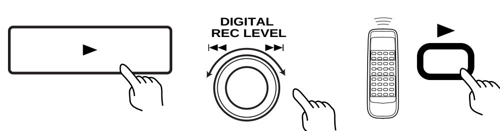


ディスクの入れかたは15ページを参照

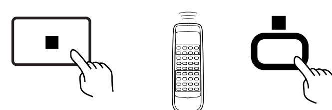
演奏の開始

1 **プレイボタン(►)またはジョグダイヤルを押します。**

- 演奏を開始します。



2 **演奏を止めるには、ストップボタン(■)を押します。**

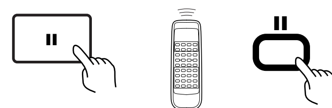


演奏を一時停止する

- 約10分間ポーズ状態が続くと、自動的に解除され、停止状態になります。

演奏を一時的に停止するには、ポーズボタン(Ⅱ)を押します。

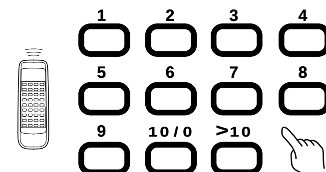
演奏を再度開始するにはプレイボタン（►）かポーズボタン（Ⅱ）を押します。



聴きたいトラックから演奏する（ダイレクト選曲）

- 全トラック数よりも大きい数を選ぶことはできません。

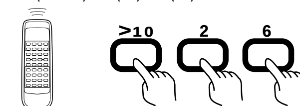
リモコンの数字ボタンを押して聴きたいトラックを選択します。



- 1〜10曲目まではダイレクトに数字を押 して選択します。
- 11曲目以上の曲は >10をまず押してから選択します。このとき、5秒以内に次のボタンを押してください。

たとえば、26曲目を選択するには

- (>10)、(2)、(6) の順番に押します。



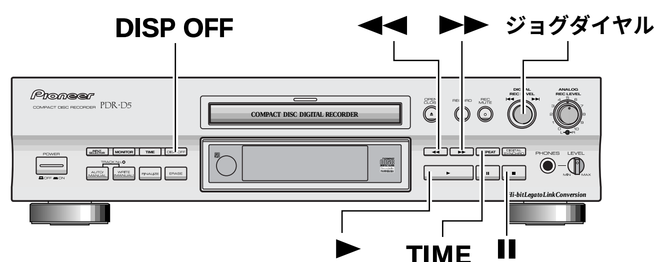
タイマー演奏するには

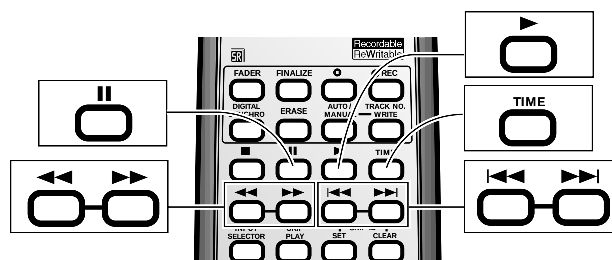
一般のオーディオタイマーを使用して、希望の時間に演奏を始めることができます。本機の電源スイッチを入れた状態で、タイマーをセットします。ディスクをセットしておくと、タイマーの電源が入ったときに自動的に1曲目から演奏を開始します。

ご注意：

- 本機の電源が入って、演奏を始める前に、本機を操作すると、タイマースタートしません。
- ディスクを新たに入れた時は、ディスクの総演奏時間が表示されたことを確認してからタイマーをセットしてください。

演奏のしかた

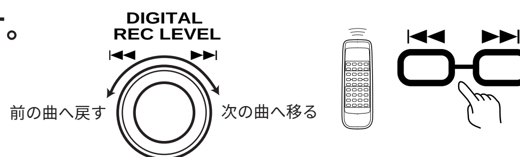




となりの曲に移るには（トラックサーチ操作）

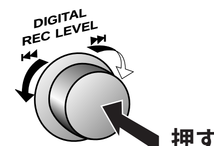
ジョグダイヤルを回します。

- リモコンの場合は、トラックサーチボタン（I◀◀ または ▶▶I ）で行います。



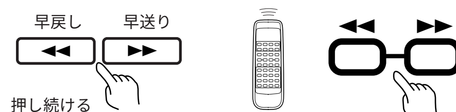
- 演奏中や演奏一時停止中、演奏停止中にジョグダイヤルを ▶▶I 方向に回すと次の曲に進みます。さらに次の曲へ進むには、進みたい曲数分だけジョグダイヤルを ▶▶I 方向に回すと、進むことができます。プログラム再生時は、次にプログラムされている曲に進みます。(リモコンの場合は、▶▶I ボタンで行います。) I◀◀ 方向にジョグダイヤルを回すと現在の曲の始めに戻ります。さらに前の曲へ戻るには、戻りたい曲数分だけ I◀◀ を回すと、戻ることができます。プログラム再生時は、前にプログラムされている曲に戻ります。(リモコンの場合は、I◀◀ ボタンで行います。)

停止中に、演奏させたいトラックナンバーをジョグダイヤルかトラックサーチボタンで選んだ後ジョグダイヤルを押すと、選んだトラックの演奏を始めます。



早送り、早戻しするには（マニュアルサーチ操作）

マニュアルサーチボタン（◀◀ または▶▶ ）を押し続けます。



- 演奏中や演奏一時停止中に▶▶ボタンを押し続けると、押している間早送りをします。ディスクの最後まで早送りすると、"END" を表示して一時停止し、◀◀ボタンで一時停止状態を解除します。
- ◀◀ボタンを押し続けると、押している間早戻しをします。ディスクの最初まで早戻しすると、再生状態になります。

- プログラム再生中は演奏中のトラックのみ早戻しと早送りができます。演奏中の曲を終わりまで早送りすると、本機は次の曲の直前でポーズ状態になります。ポーズ状態を解除するには、プレイボタン（▶）かポーズボタン（II）、◀◀ボタンを押してください。演奏中の曲を始めまで早戻しすると、その曲の始めから演奏を再開します。

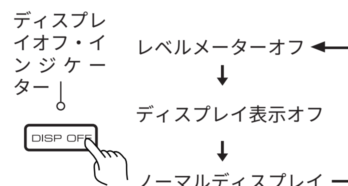
ディスプレイを消すには

再生中、表示窓の情報を消すことができます。

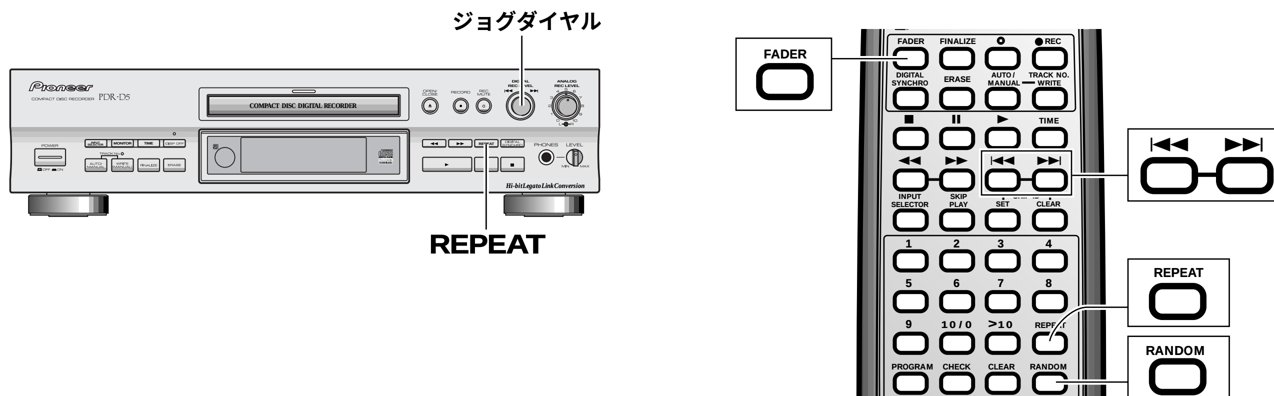
DISP OFFボタンを押します。

- ディスプレイ表示が完全に消えると、ディスプレイオフ・インジケーターが点灯します。
- ディスプレイ表示がOFF の状態でも、操作ボタンを押すと数秒間情報を表示します。

DISP OFFボタンは押すごとに以下のように切り替わります。



- TIMEボタンを押すと、トラック情報を数秒間表示し確認できます。
- 録音中はDISP OFFボタンを押しても、ディスプレイ表示を消すことはできません。
- 一時停止状態ではDISP OFFボタンを押しても、ディスプレイ表示を消すことはできません。（ただし、演奏を再開すれば消えます。）

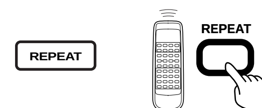


繰り返し演奏（リピート演奏）

- リピートボタンは押す度に
1曲リピート➡全曲リピート➡リピートOFF
の順に切り替わります。

REPEATボタンを押します。

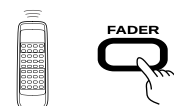
- 1回押すと1曲リピート状態になり、RPT-1 インジケーターが点灯します。このモードでは演奏中の曲を繰り返します。これは通常演奏、プログラム演奏、ランダム演奏において可能です。
- 2回押すと全曲リピート状態になり、RPT インジケーターが点灯します。このモードでは、全曲を繰り返し演奏します。
- プログラム演奏では、プログラムした順番に繰り返し演奏します。



演奏中のフェードイン／フェードアウト

- フェードイン／フェードアウトの時間は共に約5秒間です。

- 一時停止状態でFADERボタンを押すと、フェードインしながら演奏が開始します。
- 演奏中にFADERボタンを押すと、フェードアウトして一時停止状態になります。

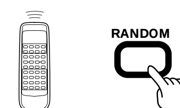


デジタル出力にフェードイン／フェードアウト機能は働きません。

任意演奏（ランダム演奏）

リモコンのRANDOMボタンを押します。

- RDMインジケーターが点灯し、ディスクの全曲を任意に演奏します。



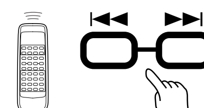
各曲の演奏時間を確認する（1曲時間表示）

- スキップ情報が指定されている曲はSKIPインジケーターが点灯します。（29ページ参照）

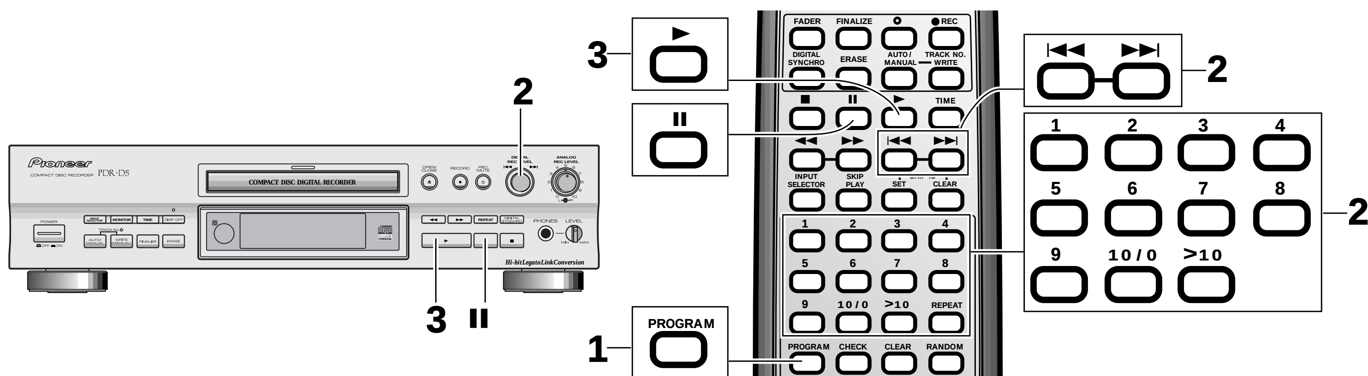
停止状態でジョグダイヤルを▶▶| 方向に回すと、回すたびに1曲目から順に演奏時間を表示します。|◀◀方向に回すと、逆の順番に演奏時間を表示します。

- リモコンの場合は、トラックサーチボタン（|◀◀ または ▶▶|）で行います。





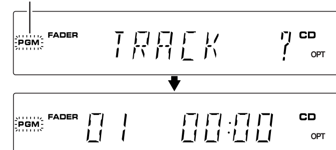
プログラム演奏



聴きたい順番に演奏する

1 停止中にリモコンのプログラムボタンを押します。

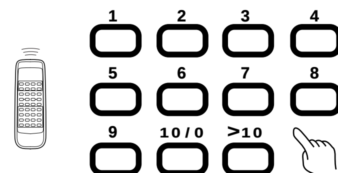
PGM インジケーターが点灯します。



● 演奏中は予約プログラムになります。

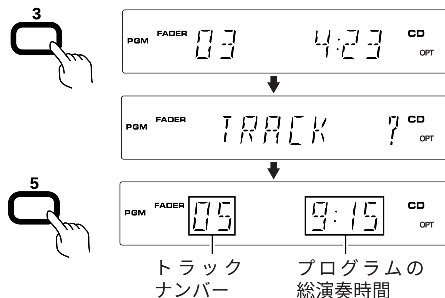
● プログラム演奏は24曲まで設定できます。
● プログラムした曲目の総演奏時間が100 分以上の場合、総演奏時間を表示しません。

2 リモコンの数字ボタンで聴きたい順番に曲を選択します。



セットが停止状態なら、トラックサーチボタン（⏮または⏭）を使ってトラックナンバーを選び、プログラム ボタンを押すことでもプログラム設定が可能です。

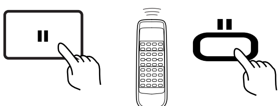
● 本体の場合はジョグダイヤルを回してトラックナンバーを選んだ後、ジョグダイヤルを押します。

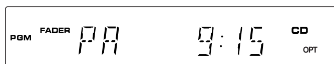


トラックナンバー　プログラムの総演奏時間

一時停止をプログラムする

停止状態でプログラム設定をしている時は、ポーズボタンを押すと、一時停止がプログラムされます。



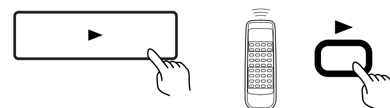


● 一時停止は1曲に数えられます。

追加プログラム

● プログラム演奏中でも、数字ボタンでプログラムの追加が可能です。

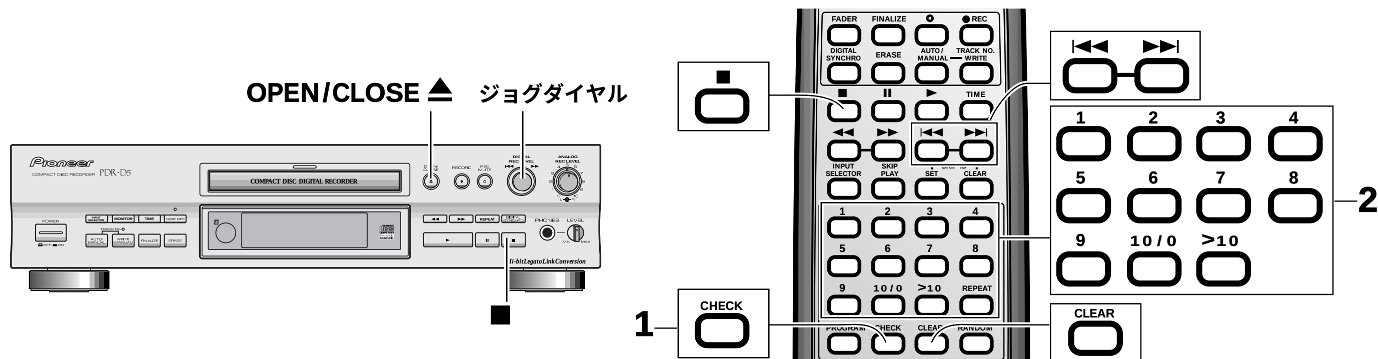
3 プレイボタン(►)を押します。



● プログラムした順番に曲を演奏します。

予約プログラムについて

通常演奏中、プログラムボタンを押してプログラムを設定後、演奏中の曲が終了すると、プログラムした曲が自動的にはじめから演奏されます。
また、通常演奏が終了する前にプレイボタン(►) を押した場合もプログラム演奏が始まります。

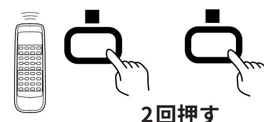


プログラムをすべて消すには

A 、B どちらの方法でもプログラムは全部消えます。

A ストップボタン(■)を押して、プログラム演奏を中止した後、再びストップボタン(■)を押します。

- 停止中は、ストップボタン(■)を1回押すとプログラムが全部消えます。



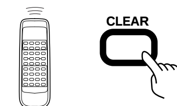
B OPEN/CLOSE(▲)ボタンを押します。



プログラムを1曲ずつ消すには

リモコンのCLEARボタンを押します。

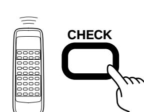
- 押すたびに、プログラムの最後のステップを削除します。

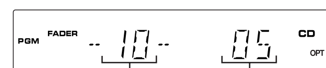


- プログラム演奏中にボタンを押すと、演奏しているステップ以降のステップを削除できます。

プログラムの内容を確認するには

停止中にリモコンのCHECKボタンを押します。



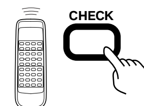


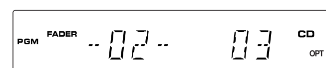
プログラム ステップ数　指定トラック ナンバー

- 押すたびに、各ステップの曲番号を表示します。
- 最後のステップが表示されている時に押すと"00"と表示し、さらに押すと第1ステップの表示に戻ります。

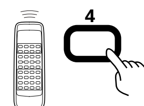
プログラムの内容を変更するには

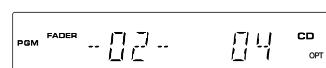
1 **停止中にリモコンのCHECKボタンを押し、変更するステップまで進めます。**





2 **変更する曲番号をリモコンの数字ボタンで選びます。**





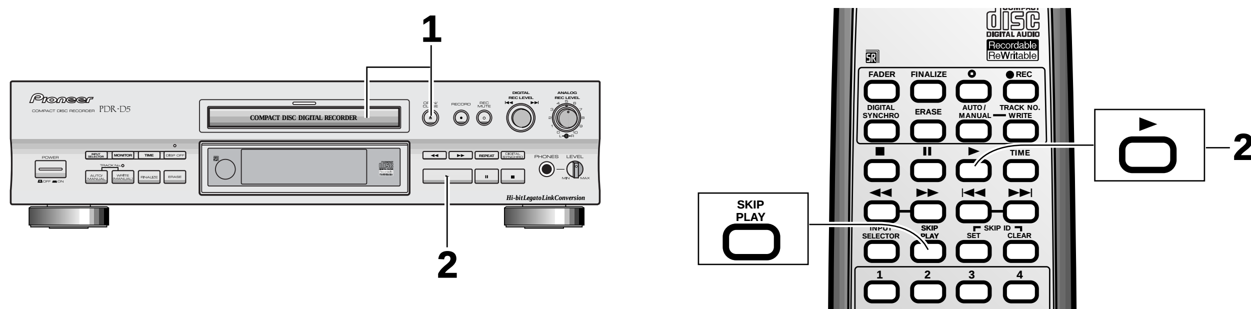
曲番号を4に変えたとき

- 曲番号はジョグダイヤルまたはトラックサーチボタン（⏮または⏭）でも選択可能です。

3 **1～2 の作業を繰り返すと、複数の曲の変更ができます。**

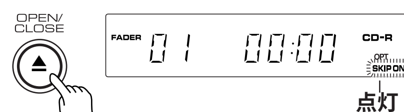
準備　録音　消去　演奏　その他

聴きたくない曲を飛ばすには（スキップ演奏）



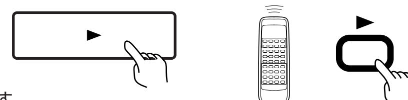
聴きたくない曲をスキップ情報の設定によって、演奏中スキップさせることができます。スキップ情報については29ページをご覧ください。

1 スキップ情報を記録したディスクを入れます。



- スキップ情報を持つディスクは、SKIP ON インジケーターが自動的に点灯します。
- スキップ情報を持たないディスクは、SKIP ON インジケーターが点灯しません。

2 プレイボタン(►)を押します。



- スキップ情報を指定した曲は飛び越して演奏します。

- ディスクにスキップ情報が指定されていないと、SKIP PLAYボタンは受けつけません。

■ スキップ演奏したくない場合

スキップ情報が指定されている曲を飛び越さずに演奏することもできます。SKIP PLAYボタンを押して、SKIP ON インジケーターを消してから、演奏してください。





SKIP ON インジケーターが消灯

ご注意

スキップ機能のない一般のCDプレーヤーではスキップ演奏できません。

文字表示一覧

メッセージ	解説	参照ページ
OPEN	トレイを開けます。	p.15
CLOSE	トレイを閉めます。	p.15
"SET" "UP"	録音のための初期設定中です。しばらくお待ちください。	
"TOC" "READ"	ディスクの内容を読み込んでいます。しばらくお待ちください。	
1-SYNC	１曲デジタルシンクロ録音の録音スタンバイ状態です。再生機側の演奏開始で録音をはじめます。	p.18
AL-SYNC	全曲デジタルシンクロ録音の録音スタンバイ状態です。再生機側の演奏開始で録音をはじめます。	p.19
"CAN NOT" "SYNC"	DIGITAL・SYNCHROボタンを押したとき入力セレクターがアナログ入力に設定されていたり、またはCD、MD、DAT 、DCC 以外のデジタル・ソースが入力されたときに表示されます。	p.18、p.19 p.20
MONI	入力セレクターで選択した入力ソースをモニターしています。	p.22、23
"INPUT" "CD" (MD, DAT, DCC)	入力セレクターで選択した入力ソースを表示します。	p.22
"PMA REC"	TOC データをディスクのPMA （プログラム・メモリー・エリア）に記録中です。 この表示が出ているときには決して電源を切らないでください。	p.17、p.18、 p.19、p.21、 p.24
"TRACK ?"	プログラム入力中です。数字ボタンまたはジョグダイヤルかトラックサーチボタン（|◀◀または▶▶|）で曲を選んでください。	p.38
"SKIP" "SET?"	トラックスキップを指定する曲を選択しています。 トラックスキップを指定する場合はSKIP ID SET ボタンを選んでください。	p.29
"SKIP" "CLEAR?"	トラックスキップを解除する曲を選択しています。 トラックスキップを解除する場合はSKIP ID CLEAR ボタンを選んでください。	p.30
"LAST?"	最終曲を消去します。 消去する場合はポーズボタン（❚❚）を押してください。	p.32
"ALL?"	全曲を消去します。 消去する場合はポーズボタン（❚❚）を押してください。	p.32、p.33
"TOC?"	ファイナライズしたディスクのTOCを消去して、ファイナライズ前の状態に戻します。消去する場合はポーズボタン（❚❚）を押してください。	p.33
"＊＊-LAST?"	選択した範囲の曲を消去します。 消去する場合はポーズボタン（❚❚）を押してください。	p.32
"ALL""DISC" "ERASE?" "dE ＊＊：＊＊"	ディスク上のすべての情報を消去します。 消去する場合はポーズボタン（❚❚）を押してください。	p.34
"CD-R" "CD-RW" . , .	店頭販売用のデモンストレーションモードが作動中です。 ボタンをどれか１つ押すと停止します。 いったん停止してから約3分間何も操作しない状態が続くと、デモンストレーションモードが再開します。 デモンストレーションモードにしたい時は、ディスクを入れた状態で電源を入れ、ディスプレイ表示が点灯し"01 00:00"になった時に◀◀ボタンを押してください。 デモンストレーションモードを解除する時は、ディスクを入れた状態で電源を入れ、ディスプレイ表示が点灯し"01 00:00"になった時に▶▶ボタンを押してください。	

その他使用中の不具合を検出しますと文字表示を行ないます。
上記以外の文字表示については42ページを参照してください。

故障？　ちょっと調べてみてください

故障かな？……と思う前にまずチェックしてみてください。不完全な整備やディスク不良、操作の不慣れなどにより故障したように思われることがあります。簡単なミスや勘違いを訂正したり、ちょっとしたお手入れによってトラブルが解決する場合は多いのです。以下の項をチェックしても症状が直らない場合は、お近くのパイオニア・サービスステーションにご連絡ください。

自己診断機能について

本機は自己診断機能を持っていますので、動作中に不具合を検出すると表示部に下記のようなメッセージを表示します。

表示	原因	対応	参照ページ
"CHECK" "DISC" 交互表示	ゴミ、汚れ、キズまたは振動によって停止したと思われます。 ディスクが表裏逆に入れられていると思われます。	ディスクにゴミ、ホコリ、キズがないかディスクを取り出して確認してください。 ディスクを取り出して確認してください。 （正しくディスクを挿入しなおしても、繰り返し表示する場合は電源コードを再度入れなおしてください。 それでも繰り返し表示する場合は、弊社サービスにお知らせください。）	p. 9 p. 15
"CHECK"　点滅表示	ノイズや静電気などでシステムに異常が発生したと思われます。	電源コードを再度入れなおしてください。 それでも繰り返し表示する場合は、弊社サービスにお知らせください。	

録音動作時関連のインフォメーション

表示	原因	対応	参照ページ
"CAN NOT" "COPY" 交互表示	コピー・ガード信号(SCMS)を含むデジタル信号が入力されている。	アナログ入力で録音するか複製可能な音楽信号を録音する。	p. 23
"CAN NOT" "REC" 交互表示	デジタル入力がさえぎられている。 CD-ROMなどのデータが入力されている。	演奏側のプレーヤーが動作しているか、デジタルケーブルがきちんと接続されているか確認する。 ソースが通常の音楽信号かどうか確認する。	p. 10 p. 17
"CHECK" "INPUT" "CD" 循環表示	DIGITAL SYNCHRO ボタンを押したとき、すでに演奏側のプレーヤーが演奏している。	演奏側のプレーヤーを停止します。 間もなく、"1-SYNC"か"AL-SYNC" を表示し、本体はシンクロ録音スタンバイ状態になります。	p. 18、 p. 19、 p. 20
"SET""UP" 交互表示	録音待機中です。	表示が消えるまでお待ちください。	
"REPAIR"	録音後ディスクを入れっ放しにして電源を切って、そのまま放置したため、曲番および録音時間情報が消えてしまう。	"REPAIR"表示中、演奏を録音したエリアをトレースすることで、曲番および録音時間情報を修復します。表示が元の状態に戻ったら、録音やファイナライズが可能です。録音したエリアをトレースするには、最大に録音をしていた場合で約40分かかります。	
"REC FULL"	ディスクの録音時間一杯に録音されているか、すでに９９曲録音されているため、これ以上録音ができない。	新しいディスクに入れ替えてください。	p. 16
"Pro DISC"	「FOR CONSUMER」表示のない業務用CD-RディスクかCD-RWディスクが挿入されている。	取り出してディスクを確認してください。 「FOR CONSUMER」または「FOR MUSIC USE ONLY」表示のあるCD-RディスクかCD-RWディスクを挿入してください。	p. 8、 p. 16

演奏動作関連　その他のインフォメーション

表示	原因	対応	参照ページ
"NEW DISC"	未録音ディスクが挿入されている。 未録音ディスクを演奏させようとした。	挿入したディスクは未録音CD-RディスクかCD-RWディスクです。録音は可能ですが、演奏はできません。	p. 8、 p. 15
"NO DISC"	ディスクを入れないで演奏させようとした。	トレイを開けて、ディスクが挿入されているか確認してください。	p. 15
"RESUME"	停電修復処理中です。 録音中に停電、または誤って電源を切ってしまった後に、ディスクの追加録音を可能にするための修復作業モードです。	メッセージが消えるまで、しばらくお待ちください。	p. 17、 p. 31

症状	原因	対応のしかた
電源が入らない。	電源コードがコンセントから抜けている。	電源コードをコンセントに差し込んでください。
	電源コードをつないだ機器（ステレオアンプ、オーディオタイマーなど）の電源が落とされている。	電源コードをつないだ機器の電源を入れてください。
スピーカーから音がでない。	接続が正しくされていない。	「他の機器との接続」に従って正しく接続をしてください。
録音できない。	接続が正しくされていない。	「他の機器との接続」に従って正しく接続をしてください。
	ファイナライズ済みのCD-RディスクかCD-RW ディスクを使用している。	ファイナライズしていないディスクを使用してください。
	入力切り替えが正しく選択されていない。	接続している入力に切り替えてください。
	録音レベル調整つまみが絞られている。	録音レベルを適度な大きさに上げてください。
録音すると音が歪む	接続が正しくされていない。	「他の機器との接続」に従って正しく接続をしてください。
	テレビからの影響を受けている。	テレビの電源を切るか、またはテレビから本機を離してください。
	ディスクが破損しているか割れている。	他のディスクを使ってください。
	録音レベルが高すぎる。	録音レベルを下げてください。
	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。
リモコン操作ができない。	リモコンの電池が消耗している。	リモコンの電池をすべて新しいものと交換してください。
	リモコンと本機の間に障害物がある。	障害物を取り除いてください。
	リモコン操作範囲の外で操作している。	リモコンの操作範囲内で操作してください。
ある曲を演奏せずに飛び越す。	SKIP PLAY がONになっている。	SKIP PLAY ボタンでOFF にしてください。
スキップ演奏をしない。	SKIP PLAY がOFF になっている。	SKIP PLAY ボタンでONにしてください。
録音したCD-Rディスクが他のプレーヤーで演奏できない。	● 録音後、ファイナライズ処理をしていない。 ● 本機でこのディスクをかけるとCD-Rインジケーターが点灯する。（8ページ参照） ● ピックアップレンズの汚れ等により、演奏するCDプレーヤーの再生能力が低下している。	ファイナライズ処理を行なってください。（31ページ参照） ● 別のCDプレーヤーで演奏できるか確認してください。演奏できる場合には、CDプレーヤー側の点検を行ってください。
店頭販売用のデモンストレーションモードが作動している。	41ページを参照してデモンストレーションモードを解除してください。	

デジタルシンクロ録音が正しく動作しない場合は、以下の方法にて再度確認してください。

1, 演奏側のプレーヤーを演奏一時停止状態にしてから、再度デジタルシンクロボタンを押します。ポータブルCDプレーヤーなどから録音する時、音とびを防ぐ機能がついている機器では、その機能のスイッチを"切"にしてください。
2, 本機の"SYNC"が点滅したら、演奏側のプレーヤーの演奏を開始します。
3, 上記の方法でもデジタルシンクロ録音が正しく動作しない場合は、「マニュアルデジタル録音」（21ページ参照）で録音してください。

● デジタルシンクロ録音は、演奏側プレーヤーのデジタル出力の中に含まれるサブコード信号を利用して録音を行いますので、一部のCDプレーヤーやMDレコーダーなどでは、デジタルシンクロ録音が正しく動作しない場合があります。

索引

名前	機能解説	参照ページ
SCMS	シリアル・コピー・マネージメント・システムの略。著作権を保護するために個人録音を制限するシステム。	p. 23
コンシュマーディスク	個人の楽しみを目的とした音楽録音用CD-Rディスク、CD-RWディスク	p. 8、16
業務用ディスク	コンシュマーCD-RディスクまたはCD-RWディスク以外のディスク（「コンシュマーディスク」参照）。	p. 8、16
CD-Rディスク	コンパクトディスクーレコーダブル	p. 8、16
CD-RW ディスク	コンパクトディスクーリライタブル	p. 8、16
修復処理	録音動作に異常があった場合、次の録音ができるようにディスクを修復すること	p. 17、31、42
スキップON/OFF	スキップ情報にもとづいて、聴きたくない曲の飛び越しがON/OFFで切り替えられる。	p. 40
スキップ情報（スキップID）	ディスクに、聴きたくない曲の飛び越しを指定している情報。	p. 29、40
総録音時間	ディスク上にすでに録音済みの部分の時間	p. 13
追記（ライトワンス）	CD-Rディスクは１度録音したら消去することはできません。常に以前録音した最後から次の録音を開始します。	p. 16
TOC	テーブル・オブ・コンテンツの略。一般のCDプレーヤーで演奏できるようにするための情報。	p. 31
ディスク破損	録音中の衝撃や、電源の遮断によってディスクの録音再生ができなくなること。	p. 31
ディスク判別	挿入されたディスクがCDかCD-RディスクかCD-RWディスクかを調べる動作	p. 15
デジタルシンクロ録音	デジタル機器の演奏／停止状態を検知して自動録音する機能	p. 18、19、20
デモンストレーション	店頭販売用の特別表示モード	p. 41、43
トラックナンバーの更新	自動または手動で録音中のトラックナンバーを１つずつ更新すること。	p. 25、26
PMA	プログラム・メモリー・エリアの略。CD-Rディスク及びCD-RWディスクはファイナライズするまで、TOC 情報をこのエリアに仮保存している。	p. 17、18、19、21、24
ファイナライズ	録音したCD-Rディスクを一般のCDプレーヤーで演奏できるようにする操作	p. 31
フェーダー	音量をなめらかに上下させて録音、または演奏すること。	p. 27、37
レーベル面	ディスクの印刷面	p. 15
録音許可／禁止	SCMSに定められたデジタル録音に制限を与えるコピーガード信号。	p. 23
録音残量	ディスク上に録音可能な未録音部分の時間	p. 13

アフターサービスについて

■保証書（別に添付してあります。）



保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受取っていただき、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間はご購入日から1年間です。

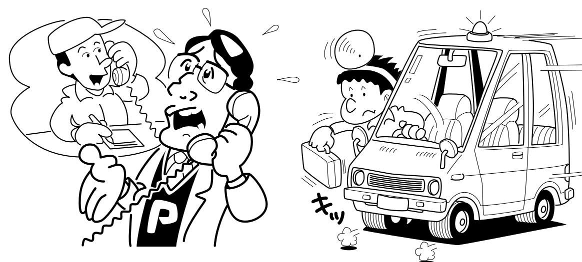
■補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスなどについてわからないとき

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアお客様相談センターまたは最寄りのパイオニアインフォメーションセンター（IC）をご利用ください。
所在地、電話番号は付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■修理を依頼するとき



もう一度取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認の上、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、サービス番号（エラー表示）が表示されているときは、それをメモして、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または、お近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容について

- ご住所、お名前、電話番号
- 製品名、型番、ご購入日
- 故障または異常の内容「できるだけ詳しく」
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

■保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。

■保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

- 本機の修理は日本国内でしか行えません。
- Repairs to this component are carried out only Japan.

お客様メモ

- おぼえのため記入されますと便利です。

ご購入店名	住　所 電話番号	お近くの ご相談窓口	住　所 電話番号
ご購入年月日	年　　月　　日	型　番	この機種は PDR-D5です。

準備　録音　消去　演奏　その他

仕様

1. 一般

形式 .... コンパクトディスクオーディオシステム
使用ディスク .... CD、CD-R、CD-RW
電源 .... AC 100 V、50/60 Hz
消費電力 .... 15 W
動作温度 .... ＋5 ℃ 〜＋35 ℃
質量 .... 4.4 kg
最大外形寸法 .... 420(幅) ×300(奥行き)×105(高さ) mm

2. オーディオ部

周波数特性 .... 2Hz〜 20 kHz
再生S/N .... 112 dB(EIAJ)
再生ダイナミックレンジ .... 98 dB(EIAJ)
再生歪率 .... 0.0017 %(EIAJ)
再生チャンネルセパレーション .... 98 dB
録音S/N .... 92 dB
録音ダイナミックレンジ .... 92 dB
録音歪率 .... 0.004 %
出力電圧 .... 2 V
ワウ・フラッター測定限界
.... （±0.001 %W.PEAK) 以下(EIAJ)
チャンネル数 .... 2チャンネル（ステレオ）
デジタル出力
同軸出力 .... 0.5 Vp-p ±20 %(75 Ω)
光出力 .... －15 dBm 〜－21 dBm(波長660nm)
周波数偏差：レベル2(標準モード）

＊録音の仕様値はライン入力時（アナログ）

3. 入力端子

光デジタル入力端子
同軸デジタル入力端子
ライン入力端子
コントロール入力端子

4. 出力端子

光デジタル出力端子
同軸デジタル出力端子
ライン出力端子

5. 付属品

- リモコン 1
- 単3形乾電池（R6P） 2
- オーディオコード 2
- 電源コード（電流容量12A） 1
- 光ファイバーケーブル 1
- 取扱説明書（本書） 1
- CD-R操作入門編 1
- 保証書 1
- 安全上のご注意 1
- ご相談窓口・修理窓口のご案内 1

上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

お客様ご相談窓口(全国共通フリーフォン)

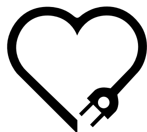
お客様相談センター

● ｶｰｽﾃﾚｵ／ｶｰﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ製品に関するお問合せ窓口　フリーフォン 0070-800-818111

● 家庭用ｵｰﾃﾞｨｵ／ﾋﾞﾃﾞｵ製品に関するお問合せ窓口　フリーフォン 0070-800-818122

● カタログのご請求に関する窓口　フリーフォン 0070-800-818133

＜ご注意＞ ● ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。
● 修理に関しては別添の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。



長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか

- **電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。**
- **電源コードにさけめやひび割れがある。**
- **電気が入ったり切れたりする。**
- **本体から異常な音、熱、臭いがする。**



すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社サービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

パイオニア株式会社  153-8654 東京都目黒区目黒１丁目４番１号